

新春特集

**2019.1
No. 151**

あきた建築士会ニュース



大館市 料亭 濱家

一般社団法人 秋田県建築士会

大館市 料亭 濱家

大館・北秋田建築士会 松橋 雅子

「濱家」は、大正8年（1919）5月の大館大火後に、当初は遊郭として開かれた「新開地」の一角に移転。鉾山景気、木材景気を背景に内芸者を抱える貸座敷として賑わった。昭和9年（1934）9月の大火で新開地は全焼するが、濱家は同年いち早く料亭として再建されたとされる。

昭和40年代から50年代にかけて、小坂鉾山や花岡鉾山の隆盛、木材業の発展を背景に料亭街は大いに栄えたが、二階広間の利用が敬遠されるようになったこともあり、昭和40年頃に一階西側の二室を一室として二間続きの広間とした。昭和44年（1969）に主屋西側の隣接地に大広間を持つ新館を建設。昭和50年（1975）頃には一階広間を改装したほか、玄関南隣の仲居部屋を来客用の休憩室とするなど時代に合わせた改修を進め、大館市を代表する料亭としての面目を保ち続けた。

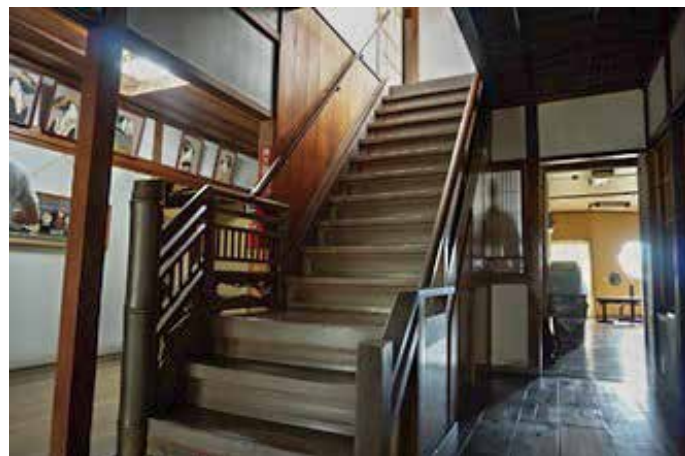
しかし、昭和60年代から始まった鉾山の相次ぐ閉山や木材業の低迷の中で利用客も激減。また、社会情勢の変化により料亭での宴会や結婚披露宴も減少したため経営は困難となり、平成19年（2007）に廃業した。



戸袋 縦羽目板の目板には竹をあしらい、小屋根は反りのある入母屋風屋根をのせて、鬼板をのせた主屋2階の風情に格式を持たせている。



玄関屋根 丸太の母屋の上に細丸太の化粧垂木が見える。出隅部分はその垂木を放射状に配し、丸太の母屋の交点にはあえて柱を設けず、軒天井は折上格天井とする等、数寄屋風情を醸している。



慶事・吉祥のシンボルとして松竹梅が巧みにあしらわれた階段
手摺の親柱は木材を孟宗竹風に削出し

(P55 へ続く)

目 次

新年を迎えて	新年のごあいさつ……………一般社団法人秋田県建築士会会長 淡 路 孝 次… 2
	年頭のごあいさつ……………秋田県建設部長 小 川 智 弘… 3
	新年のご挨拶……………秋田県建設部建築住宅課長 伊 藤 和 博… 4
建 築 士 大 会	第 43 回 一般社団法人 秋田県建築士会大会 横手大会 …… 5
	主催者あいさつ…………… 6
	青年委員長あいさつ…………… 7
	歓迎のあいさつ…………… 8
	◇総評…………… 9
	◇フォーラム……………10
	◇パネルディスカッション……………11
優良建築物見学会	平成 30 年度 優良建物見学会 ……12
	・佐藤又六家 国登録有形文化財……………12
	・旧松浦千代松家 横手市指定文化財……………13
	・旧石田理吉家 横手市指定文化財……………14
	・日の丸醸造株式会社 国登録有形文化財……………14
地域貢献活動	親子体験学習～ IN 遊学舎 ……16
投 稿 だ よ り	「大館市ヘリテージマネージャー養成講座」を終えて ……17
	女性委員会活動の一コマ
	・北秋支部学習会に参加して……………21
	・「鳥海山木のおもちゃ美術館」の見学会 ……21
	・優良建物見学会 I N 鶴岡・にかほ 楽しいよ・女性部会……………22
	・「常安寺五重塔見学と五日町散策」に参加して ……24
	ヘリテージマネージャー養成講座を受講し終えて……………25
定 期 講 習 会	建築士定期講習のお知らせ……………28
会 務 報 告	……………29
地域会だより	……………31
誌 上 年 賀	……………35
事務局だより	……………48
編 集 後 記	……………54

新年のごあいさつ



一般社団法人秋田県建築士会会長 淡路孝次

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人秋田県建築士会の皆様におかれしては、新年をつつがなく迎えられていることと推察し、心から年賀のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、士会運営に会員の皆様より多くのご協力を頂きありがとうございました。お陰様で一つ一つの事業が心に残り、価値のあることであったと思っています。

幾つか列記してみると

1. 大館市ヘリテージマネージャー養生講座開校
(新たに26名のマネージャの誕生)
2. 全県大会横手大会の開催
(横手市長、大館副市長のご臨席を得る)
3. 全国大会さいたま大会への参加
(本年：函館大会、来年：広島大会)
4. 東北ブロック青年大会秋田大会の開催
5. 東北ブロック女性委員会みやぎ大会への参加

思いつくまま列記してみましたが、各事業に多数の会員の参加を得、そして参加者それぞれが多くのご体験と多くの新たな出会いを得、明日に向かう力を得たものと確信しております。

しかし残念ながら、私が実行できなくて反省していることもあります。一番大きなことは会員増強対策について具体的な事業を実施できなかったことです。連合会でも会員増強対策タスクフォースを立上げ、危機感をもって対策に取り組んでおります。その一員に私もなっていることから現在の任期中に秋田会でも具体的な増強対策を提起し、行動を起こしたいと考えております。特に会員や賛助会員様と直接かかわりのある地域会の皆様との連携を図りたいと考えております。

ところで現在の会長としての任期はあと半年で終了する時期となりました。これまでの一年半の間ただ右往左往するだけであったと思っており反省しきりであります。しかし嬉しかったことが多数ありました。

その中でも一番は、各地の地域会の皆様と意見を

交換し親交を深めることができたことであります。そのことによって連合会やブロック会に秋田県を代表し出席しても自信をもって意見を述べることでできております。また、連合会がそのような各地の意見を集約し、関係機関と協議し、様々な制度改変の際にその意見を反映させていることも体験できました。それ故、地域の声を発することの大事さが解かり、改めて責任の重さを感じております。

また同様に改めて感じたことは、地域の良さを地域の人間が再認識し全国に発信することの大切さであります。連合会が取組むテーマは地域からの提起に由来することが大きい。その具体例の一つが兵庫県発のヘリテージマネージャー(HM)制度です。詳述は機会を改めますが、現在秋田県内では横手と大館地域が歴町法によるまちづくりに取り組んでおり、その中核の人材としてHMが両地域で行政と連携しながら活躍し始めております。地域の歴史や文化遺産を保全し活用する推進員がHMですので、地域に根差し活躍している建築士会会員の皆様はHMとしてまさに適任と認識しております。今後は県中央部でも取組めるよう活動してまいる所存です。

旧年中に全国大会秋田大会に向け実行委員会が立ち上がりました。これからの士会活動の根幹部分となると思われます。秋田らしさ、秋田の伝統文化を発信することに会員の英知を結集し成功に結び付けられるよう活動してまいります。

年頭にあたりましての結びとして、私が昨年感銘した言葉を紹介し閉じさせていただきます。

哲学者小谷野敬一郎氏曰く

※自らの依って立つ足下を明らかにして、進むべき方向を断じる。それが歴史を学ぶ事の意義である。

※歴史は、今、作られている出来事であり、未来へと繋がる出来事である。歴史を学ぶ事は、今を知る事である。

※歴史は知識ではなく現実である。過去から現代への延長線上にあるのが未来。

年頭のごあいさつ



秋田県建設部長 小 川 智 弘

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本県建設行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県では、昨年4月からスタートした「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づき、県内産業の基盤強化や交流人口の拡大、移住・定住対策などを重点事項として、人口減少の抑制を目指す「攻め」と人口減少下にあっても県民の安全・安心な生活を維持する「守り」の両面から施策や事業に取り組んでいるところです。

昨年を振り返りますと、高速道路については、日本海沿岸東北自動車道の「大館能代空港IC～鷹巣IC間」の開通によって高速道路の供用率が90%を越え、全線開通に向けて大きく前進したところであり、今後も、高速道路を補完する県管理道路の整備と併せ、産業経済活動や観光振興、広域交流等に結びつく道路ネットワークの形成に向けた取組を推進してまいります。

港湾については、クルーズ誘客のためのターミナル施設が供用開始となり、クルーズ船の寄港回数も一層増加する見込みであるほか、洋上風力や石炭火力の発電施設が計画されるなど、交流・物流拠点やエネルギー拠点として、必要な機能強化を図ってまいります。

また、昨年は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震など、全国各地で自然災害が発生しており、県内においても、度重なる豪雨被害に見舞われていることから、甚大な浸水被害を受けた河川の改良復旧に加え、住民の避難を促す危機管理型水位計の設置など、ハード・ソフト一体となった対策を講じるとともに、国土強靱化に向けた防災・減災等の取組を加速してまいります。

一方、平成22年度に開始した「住宅リフォーム推進事業」は、平成29年度までの8年間で約8万4千戸の利用があり、県内経済の活性化と良質な住宅ストックの形成に大きく寄与してきたものと考えております。平成30年度からは、子育て世帯への支援の拡充と、耐震化など5つの政策目的に特化した安全・安心型に転換しながら事業を継続しており、引き続き良質な住宅ストックの形成に努めて

まいります。

さて、本県の人口は、全国のすう勢を上回るペースで減少しており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2045年には13市町村において人口が現在の半数以下になると見込まれていることから、地域コミュニティや公共サービスの維持を図ることはもとより、人口減少社会に対応した社会システムの構築や新たなまちづくり・地域づくりに、これまで以上にスピード感をもって進めていく必要があります。

このため、県では市町村と連携し、CCRCの導入促進等に取り組んでおり、秋田市などにおいて居住機能や医療・福祉・商業施設等の都市機能を誘導する区域を定めた立地適正化計画を策定し、地域の実情に沿った暮らしやすいコンパクトなまちづくりを推進しているところです。

現在、秋田駅周辺においては、CCRC拠点施設や学生マンション、スポーツ施設など、多世代の交流や賑わい創出に向けた取組が活発化しており、引き続き、コンパクトなまちづくりを推進するとともに、地域のまちづくりを担う人材の育成など、まちの賑わい創出に努めてまいります。

また、本県の建設産業は、除排雪や災害対応など、地域の安全・安心を支える重要な役割を担っておりますが、若年入職者の減少等により深刻な担い手不足となっていることから、県庁内に設置した「秋田県建設産業担い手確保育成センター」がワンストップ機能を発揮し、建設産業団体や教育・訓練機関と連携して、建設企業出前説明会をはじめとする「若者確保」や、女性就業者のネットワーク構築等による「女性活躍」、ICT研修拠点の整備等による「ICT活用」など、建設産業の担い手確保・育成や生産性向上に寄与する取り組みを強化していくことにしております。

今後も、本県が将来にわたり持続的に成長していくため、経済活動や住民生活の基盤となる社会資本を着実に整備するとともに、活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくりに全力で取り組んでまいります。

結びに、秋田県建築士会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新 年 の ご 挨 拶



秋田県建設部建築住宅課長 伊 藤 和 博

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、会員の皆様方には、日頃より県の建築・住宅、まちづくり行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

県では、昨年4月から、新たな県政運営の指針「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」をスタートさせましたが、この中で建築住宅課は、「住宅・建築物の耐震化の推進」を重点施策と位置づけ、大規模地震等に備えた良質な住宅・建築ストックの形成に取り組んでいくこととしています。

昨年も、大阪府北部地震や北海道胆振東部地震など大規模な地震が発生し、通学児童が犠牲となったブロック塀の倒壊事故は、危険ブロック塀対策の必要性・緊急性を改めて浮き彫りにしました。

昭和53年の宮城県沖地震を契機として、塀の高さ等の規制が強化されましたが、施工時期や状況が不明な既存不適格塀も未だ数多く存在しており、それらを含めた危険ブロック塀の実態把握と除却の促進は、行政の喫緊の課題であると考えています。

塀の診断や改修に対する支援は、現在県内4市において実施されていますが、国土交通省では平成31年度に新たな支援制度の創設を検討しており、それらを有効に活用して支援体制を整備するとともに、所有者等に対策の必要性と支援制度を周知していくことが、危険ブロック塀対策の推進に重要であると考えています。

また、県内の木造住宅の耐震化率は約70%であり、全国平均に比べて非常に低い水準となっています。県では昨年度から貴会のご協力のもと、市町村と連携した耐震診断業務委託事業を開始し、今年度は17市町村に対象が拡大したところですが、診断が改修工事に繋がるなど、徐々に効果が出始めていることから、今後もこの事業を活用した耐震改修の促進に努めてまいります。会員の皆様におかれましても、事業の周知と適切な診断の実施等について、

さらに一層のお力添えを賜りますようお願い致します。

さて、この年末に、設計三会（建築士会、建築士事務所協会、建築家協会）の共同提案を受けた改正建築士法が可決成立し、先般公布されました。建築士試験の受験資格が緩和され、実務経験が合格後の登録要件に位置づけられたことにより、新卒受験者が増加し、技術者不足や高齢化など諸課題の解決に、一定の効果が期待されるものと考えられます。今後、改正に伴う施行規則等の詳細について、貴会を通じて情報提供をさせていただきますので、関係する方々への後押しをよろしくお願い致します。

また、平成30年度の建築士試験結果が年末に公表されましたが、秋田県の一級建築士の最終合格者は7名、最終合格率は5.2%で、全国平均12.5%と比較して大きく下回り、合格者数では全国最下位でした。一方、二級建築士の最終合格者は37名、合格率19.7%で、直近3ヶ年の平均合格率を上回りましたが、全国平均25.5%と比較すると大きく下回っています。今年度合格された方々には大いなる飛躍を期待致しますが、県の合格率の底上げのために、新制度への対応を含めて受験される方々には大いに奮起を期待したいと考えています。

新年は、新天皇の即位、元号の変更、消費税引き上げ等、大変革の年となりますが、東京オリンピック・パラリンピック等の開催に向け、期待に満ちた1年でもあります。県行政においても皆様のご期待に応えられるよう、各種施策の推進と、適切な行政運営に努めて参りますので、会員皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりにになりますが、秋田県建築士会の益々のご発展と、会員皆様方のご健勝ご活躍を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

第43回 一般社団法人 秋田県建築士会大会 横手大会 歴史と暮らす



◇と き：平成30年11月13日（土）

◇と ころ：横手プラザホテル

主催 一般社団法人 秋田県建築士会

共催 一般社団法人 秋田県建築士会青年委員会

主管 横手建築士会

後援 横手市、横手市教育委員会

◇大会プログラム

13:00~13:30	受 付	司会	亀井 沢 洋 平	
13:30~14:00	付 典			
	1. 開 会 の 言 葉	横手建築士会 副会長	早 山 政 美	
	2. 会 長 挨 拶	(一社)秋田県建築士会 会長	淡 路 孝 次	
	3. 歓 迎 の 挨 拶	横手建築士会 会長	照 井 郁 人	
	4. 青年委員長挨拶	(一社)秋田県建築士会 青年委員長	工 藤 博 臣	
	5. 来 賓 紹 介			
	6. 来 賓 挨 拶	横手市長	高 橋 大 様	
		秋田県議会議員	土 谷 勝 悦 様	
		秋田県議会議員	柴 田 正 敏 様	
	7. 閉 会 の 言 葉	横手建築士会 副会長	菊 池 泰 美	
14:10~15:40	フォーラム「横手市増田重要伝統的建造物群保存地区について」 ※ 一般公開	司会	亀井 沢 洋 平	
	増田重伝建地区になるまでの取り組み			
	横手市役所		石 橋 大 輔 様	
	増田重伝建地区の特性とまちづくり			
	横手市役所		石 田 正 明 様	
	文化財での暮らし			
	増田まちなみ保存会		鈴 木 百合子 様	
	大館市の歴史まちづくり法の取り組み			
	大館市役所		齋 藤 和 彦 様	
15:50~17:00	パネルディスカッション 「歴史的地区に暮らすとは？その取り組みと建築士の役割」 ※ 一般公開	司会	亀井 沢 洋 平	
	パネリスト	横手市長	高 橋 大 一 様	
	大館市長代理 副市長	名 村 伸 和 様		
	大館市まちづくり課課長	齋 藤 和 彦 様		
	増田まちなみ保存会	鈴 木 百合子 様		
	横手建築士会 会長	照 井 郁 人 様		
	コーディネーター	横手建築士会	鈴 石 博 実	
18:00~	懇親会			
	1. 開 会 の 言 葉	横手建築士会 副会長	黒 田 稔 裕	
	2. 挨 拶	横手建築士会 青年部長	齋 藤 智 裕	
	3. 来 賓 紹 介			
	4. 来 賓 挨 拶	秋田県議会議員	鶴 田 有 司 様	
	5. パネルディスカッション総評	(一社)秋田県建築士会 会長	淡 路 孝 次 様	
	6. 乾 杯	(一社)青森県建築士会 青年委員長	稲 見 公 介 様	
	7. アトラクション			
	8. 大 会 旗 伝 達	横手建築士会 → 秋田中央建築士会		
	9. 決 意 表 明			
	10. 中 締 め	横手建築士会	奥 圭 司	
	11. 閉 会 の 言 葉			

主催者あいさつ

一般社団法人 秋田県建築士会 会長 淡 路 孝 次

平成が閉じられる本年、様々な事柄で心に残る年となりました。過去に例を見ない自然の猛威、命に係わる酷暑や前例のない台風、豪雨。人的には、企業のデータ偽装、スポーツ界の不祥事等々。負の出来事が多い中、日本の将来に大きな意味を持つ事もありました。18歳を大人とする制度改正や金農野球部の活躍であります。金農野球部のひた向きの姿は日本人に感動を与え、努力の大切さを教えてくれました。

左様に変動する昨今、建築士会にも様々な波が押し寄せております。そのことは建築士に対する社会の期待の表れとも言えますが、其の期待に応えるべく努力する姿に地域の信頼が醸成されるのではないのでしょうか。それ故建築士が一堂に会し、親睦を深め研鑽する本大会の意義は重要であります。また、三年後には全国大会秋田大会が開催され、秋田の建築文化を全国に発信する機会となりますが、日頃の地域貢献活動の成果を会員と共に発揮し花開かせることを祈念致します。



大会会場



来賓挨拶 横手市長 高橋 大 様



ご来賓



懇親会

青年委員長あいさつ

一般社団法人 秋田県建築士会 青年委員長 工 藤 博 臣

本日は、第43回一般社団法人秋田県建築士会大会 横手大会の開催にあたり、ご臨席賜りましたご来賓の皆様、東北ブロック各県の青年委員長の皆様、ならびに県内各地の建築士の皆様には、こ多用中のところ多数ご参加頂きまして心より御礼申し上げます。

さて本年の大会は「歴史と暮らす」をテーマに開催いたします。

ここ横手市では、秋田県では昨年の大館市に次ぐ、歴史的風致維持向上計画の認定を本年の7月に国から交付されました。通称、歴史まちづくり法は、歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる「歴史的風致」を活かしたまちづくりを支援するため、平成20年に施行されております。

今まであったものに、その価値を見出し、歴史的風致を維持・向上させ継承させていく取組みですが、近隣住民の皆様並びに行政関係者の皆様のご尽力に敬意を表するとともに、われわれ建築士もその一助になったものと考えます。

まちづくりとは、人から始まり、地域に波及し、故郷を想う心を育むものと思います。是非本大会から、一人一人の故郷を考えるきっかけとなることをご祈念申し上げまして、大会にあたっての挨拶いたします。



懇親会



アンサンブルニッセの演奏

歓迎のあいさつ

横手建築士会 会長 照 井 郁 人



本日は、大変お世話になっております多くのご来賓の方々を始め、また東北各地の青年委員長様、そして県内各建築士会の会員の皆様にも多数ご出席頂きまして、心より歓迎申し上げます。

さて今年の横手大会は「歴史と暮らす」をテーマに地元の皆さんの協力を得て開催いたします。増田地区は数多くの方達の尽力により、平成25年の国重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。本町、中七日町通りは、明治から昭和初期にかけて商業で栄えた家屋が軒をつなれ、一歩中に入れば各々の家屋が主屋と接続された「さや」と呼ばれる上屋にすっぽり覆われた蔵、「内蔵（うちぐら）」が存在し、現在50棟余りが確認されています。豪雪地帯であるがゆえの構造で、さやに守られた内蔵が、通り土間によって主屋と繋がり今もなお生活を営み、中には内蔵そのものが住居空間になって現代まで受け継がれています。先人の人々の歴史に学び伝統、文化、技術を継承している増田、「歴史と暮らす」を体験して貴重な学ぶ機会になればと思います。

結びに、本大会の開催にあたり、頑張ってくれた青年部、会員の皆さん、また多数の関係各位の方々に厚く御礼申し上げますと共に、ご出席の皆様のご健勝を祈念し歓迎のあいさつと致します。



クラリネット演奏 亀井沢 青年副委員長



女性委員会の皆さま



大会旗伝達



次年度は秋田中央建築士会が担当です

◇総評

横手建築士会 青年部長 齋藤 智 裕

晩秋の大館市で大会旗を手渡されたのが一昨年。その時から横手大会の構想を少しずつ膨らませて来ました。大会もさることながら、次の日の見学会も合わせて考えた時、二日間で関連のある事業にしたいと思い、横手市で注目されている増田地区を考えることにしました。

横手市増田は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された商家の街です。増田の特徴である内蔵は、床の間を有する「座敷蔵」と物品を収納する「文庫蔵」があります。家族だけの空間だった内蔵の公開と重伝建に選定されたことにより、徐々に観光客が増え、まちなみにも変化見られます。そこで今回のテーマを「歴史と暮らす」としました。実際に伝統的建造物に住んでいる方の暮らしはどうなのか。地域に存在する文化財と周辺環境の保存・活用するためには何が必要なのか。県内で最初に「通称 歴史まちづくり法」の認定を受けた大館市と重伝建のある横手市、そこに暮らす増田よりお客様をお招きし考えていくことにしました。



フォーラムでは「横手市増田重要伝統的建造物群保存地区について」と題して、今まで関わって来られた横手市職員の石橋大輔様と石田正明様から、増田重伝建地区になるまでの取り組みと特性についてご講演していただきました。次に実際に住まわれている方のお話を、増田まちなみ保存会の鈴木百合子様からしていただきました。行政の方ではない一般の方のお話は、建築士会の我々にとっても非常に参考になりました。他の市町村の取り組みもお聞きして多面的に捉えるため、大館市役所の齋藤和彦様から大館市の歴史まちづくり法の取り組みもお聞きしました。やはり地域によって課題はそれぞれ違うことを感じました。

次のパネルディスカッションでは「歴史的地区に暮らすとは？その取り組みと建築士の役割」と題して、横手市長の高橋大様、大館副市長の名村伸一様、前出の齋藤和彦様、鈴木百合子様、横手建築士会会長の照井郁人の5人がパネリストで討論していただきました。行政、住人、建築士とそれぞれが違う立場で活発な意見交換が行われました。碎けた雰囲気が進められたのは横手建築士会のコーディネーターによる力が大きかったと思います。総評は淡路会長で、建築士の立場として行政への要望を大いに伝えてもらいました。尚、秋田魁新報社様が取材にいらっしゃり、後日、このディスカッションの様子が掲載されました。一般公開もしましたが一般客はほとんど見られず、チラシだけでの集客の限界を感じました。

翌日の優良建物見学会では、増田に移動してもらい、重要文化財の「佐藤又六家」・「旧松浦千代松家」、市指定文化財で木造三階建住宅の「旧石田理吉家」、黒漆喰磨きが見事な座敷蔵をはじめ6棟の蔵を有する「日の丸醸造株式会社」の四つを見学していただきました。特に「旧松浦千代松家」は通常は非公開ですが、今回特別に内覧が出来ることになりました。いずれも歩いて行ける距離にあり、好天にも恵まれ、増田のまちなみも楽しんでいただけたと思っております。

前回の横手大会の時には、私はまだ建築士会に入会しておらず、手探りで進めて来ましたが、元青年部（今も青年部？）の協力もあり、至らない点もあったかとは思いますが、何とか無事に終えることが出来たと思っております。明治時代に蔵の建築に携わった方々は、今のように観光客が押し寄せるとは想像もしなかったことでしょう。時代は変わりますが、その時の最善を尽くすことが何かを残すということ。これからの日々の仕事に励んでいきたいと思っております。増田にはまだ見ごたえのある蔵がたくさんありますので、横手にお立ち寄りの際は、是非、ご覧になってください。横手大会に参加された皆さん、ありがとうございました。

◇フォーラム

「横手市増田重要伝統的建築物群保存地区について」 ※一般公開

講演 1 増田重伝建地区になるまでの取組み

講師：石 橋 大 輔 様 —横手市役所—



講演 2 増田重伝建地区の特性とまちづくり

講師：石 田 正 明 様 —横手市役所—



講演 3 文化財での暮らし

講師：鈴 木 百 合 子 様 —増田まちなみ保存会—



講演 4 大館市の歴史まちづくり法の取り組み

講師：齋 藤 和 彦 様 —大館市役所—



◇パネルディスカッション

「歴史的地区に暮らすとは？ その取り組みと建築士の役割」 ※一般公開



パネリスト

高名 齋 鈴 照	橋村 藤 木 井	大 一 彦 百合子 人	様 様 様 様	横手市長 大館市長代理 副市長 大館市まちづくり課課長 増田まちなみ保存会 横手建築士会 会長
----------	----------	-------------	---------	---

コーディネーター

鈴 石 博 実	横手建築士会
---------	--------



平成 30 年度 優良建物見学会

今年度の優良建物見学会は、平成 30 年 10 月 13 日（土）に横手市で開催された秋田県建築士大会横手大会に合わせて、翌日の 10 月 14 日（日）に開催されました。見学した建物は重要文化財の「佐藤又六家」・「旧松浦千代松家」、市指定文化財で、木造三階建住宅の「旧石田理吉家」、黒漆喰磨きが見事な座敷蔵をはじめ 6 棟の蔵を有する「日の丸醸造株式会社」の四つで、いずれも明治時代の建物です。会員を中心に総勢 30 名の方が参加され、4 班に分かれて見学していただきました。

好天に恵まれ、優良建物だけではなく、増田のまちなみも楽しみながらの見学会となりました。説明員は住人の方と横手建築士会のスタッフで、建築の視点からの説明は大変好評でした。以下、その概要を紹介します。



佐藤又六家

国登録有形文化財

建造物の種類：店舗・住宅・土蔵
所在地：増田町増田字中町
所有者：個人所有
建築年代：明治前期
公開：通年

現当主で 12 代目にあたる。かつては味噌・醤油販売を営み、増田一の販売高を誇っていた。家伝によると、主屋・土蔵ともに明治元年に着工、明治 4 年の竣工という。店蔵を鞘で覆う形式は増田地区で唯一である。

① 主屋（店蔵・住宅）

【規模】間口 6.77 m 奥行 46.22 m

【形式】土蔵造二階建 妻入 上屋付（店蔵）及び木造二階建 切妻造（住宅）

【年代】明治初期《建築様式・家伝より》

文庫蔵とあわせ一連の建造物として表通りに接し、東向きに建つ。正面側から外観すると、上屋付であるため、一見木造のように見えるが主体は土蔵造りである。正面妻部の幾重にも重ねられた化粧梁は秋田地方でよく採取り入れられた意匠であるが、当家の場合、大きな三本の梁首の具備と、社寺建築を



思わせる組物や持送が特徴となっている。

内部の店舗部は改装されているが、店舗に続く座敷・居間は建築当初に復原され、店舗の次の間に神棚を祀り、店舗から屋敷奥まで外部に出ることなく往来できる通りを残している等、往時の商家の姿を良く留めている。

構造的には小屋組が陸梁の上に小梁を数段重ねる造りとなっており、桁や梁などが手斧で仕上げられ、床板が和釘で打ち付けられている等、江戸松から明治初期の建築を窺わせる後方が随所に見る事が出来る。

店蔵に続く水屋部分は時代に合わせ改造されているが、上部の小屋組は往時のままであり、梁を二重に渡し、桁方向にも同様に組む豪雪地帯である当地特有の小屋組となっている。

② 文庫蔵

【規模】 間口 5.96m 奥行 12.76 m

【形式】 土蔵造 二階建

【年代】 明治前期頃《建築様式・家伝より》

文庫蔵は明治中期以前の工法の特徴である、梁高が低く、部材が手斧で仕上げられ、店蔵と同様に床板が和釘で打ち付けられている等から、店蔵及び後方にあったもうひとつの土蔵と合わせ、江戸末から明治初期に逐次建てられたものと思われる。

文庫蔵の奥は昭和初期頃に家人の部屋として利用するため座敷として改造され、二階床に開口部を設けて座敷への採光に工夫がなされている。

旧松浦千代松家

横手市指定文化財

建造物の種類：住宅・土蔵

所在地：増田町増田字七日町

所有者：個人所有

建築年代：明治前期

公開：予約

明治 21 年（1888）に松浦千代松が松浦文吉家より分家、葉タバコや生糸の仲買を行った。明治 32 年（1899）には羽後葉煙草合資会社を設立した。その後、葉タバコ製造が国営となったため、明治 43 年（1910）に増田水力電気会社を創業した。

① 主屋

【規模】 間口 10.53 m 奥行 36.40 m

【形式】 木造二階建 鉄板葺 切妻造

【年代】 明治前期《建築様式より》

② 座敷蔵

【規模】 間口 6.37m 奥行 11.83 m

【形式】 土蔵造二階建 妻入 切妻造 鉄板葺

【年代】 明治 36 年《棟札》

棟梁は山中萬吉。当時この土蔵を一万円で建てたとの家伝がある。



旧石田理吉家 横手市指定文化財

建造物の種類：住宅・土蔵
所在地：増田町増田字中町
所有者：個人所有
建築年代：昭和前期
公開：通年

文政2年(1819)に「勇駒」の醸造元、石田久兵衛家より分家し、石理酒造を創業、「金星の醸造元」であった。戦後間もなく廃業し、その後は病院を開院した。県内に残る近代の木造3階建て住宅としては、由利本荘市の養老閣(佐々木家住宅：大正10年)、大館市の桜櫓館(昭和8年)などわずかな例にとどまっている。

① 主屋

【規模】間口 10.50 m 奥行 22.95 m
【形式】木造一部三階建 鉄板葺 入母屋造
【年代】昭和12年《棟札》

県内でも数少ない木造三階建て住宅は先代の婿入り時に建てられたものと伝えられる。建物は五寸角の通し柱9本によって支えられ、総三階建ての垂直性が強調された外観となっている。一階は和室二部屋、二階は和室と洋室の応接室、三階は20畳の和室一室で構成され、部材には檜や黒柿など厳選されたものがふんだんに使用される。

二階の応接室は、寄木張りの床に、折上天井となっており、折上部分には換気口が付けられている等、当時のモダンな意匠が施されている。

② 座敷蔵(内部非公開)

【規模】間口 6.03 m 奥行 12.78 m
【形式】土蔵造二階建 鉄板葺 切妻造
【年代】明治14年《棟札》



日の丸醸造株式会社 国登録有形文化財

建造物の種類：店舗
所在地：増田町増田字七日町 114 番地 2
所有者：日の丸醸造株式会社
建築年代：明治後期
公開：通年

元禄2年(1689)、杏澤甚兵衛が創業した「日の丸」。大正2年(1913)年の日英大博覧会で1等金牌を受賞した。大正14年(1924)に株式会社化し、戦時中一時廃業したものの、昭和23年(1948)年復活し、現在に至る。現在、増田の唯一の醸造元である。



① 店舗

【規模】 間口 15.574 m 奥行 23.09 m

【形式】 木造平屋建 鉄板葺 妻入 切妻造

【年代】 明治後期ごろ《建築様式より》

街道に西面して建つ平屋建の店舗建築。街道に面した妻面は化粧梁と化粧束、そしてその間の漆喰壁とが創り出す黒と白の対比が美しく、店舗に掛かる下屋庇と、主屋の大きく緩やかな屋根と相まって、伝統的な町家の様子を伝えている。内部は増田の商家らしく、南側に吹き抜けの「通り」を廃して店舗から醸造蔵まで屋内を往来できるようにし、同時に家ノ中心部まで光が届くよう高窓を取り付ける工夫がなされている。北側には事務室、応接室等を配し、その奥に居住スペースを設けている。

② 文庫蔵

【規模】 間口 6.06m 奥行 11.82 m

【形式】 土蔵造二階建 切妻造

【年代】 明治 41 年（1908）《有 棟札》

当家の文庫蔵は、増田の数多い内蔵の中において、その意匠や豪華で繊細な装飾がひと際際立った内蔵と言える。この時期に建設された内蔵は各蔵ごとに工法や意匠に工夫がなされ、当家の場合は5寸5分のヒバの通り柱を一尺間隔で配することで堅牢な構造を創り出し、梁や小屋組を支えて他家の土蔵よりも階高の高い広い空間を作り出している。

また、この強固な躯体で支えられる小屋組も他家の物とは異なり、伝統的な重梁工法を用いながらも使用されている小屋梁には元口2尺5寸の檜が使用され、その巨大な小屋組は見る物を圧倒する。

装飾に関しては、土蔵全体が黒漆喰で仕上げられ、土扉と冠木は磨き仕上げが施されている。土扉を飾る蛸飾りには、大戸や内部の欄間と同じ亀甲の組子細工が組み込まれ漆塗りですまじられている。

1 階の内部は、狭い間隔で立ち並ぶ柱や梁に漆が塗られ、柱間の白い塗り込めの壁とが織り成す絶妙なバランスが室内を凜と引締め、気品ある美しさを漂わせている。また、座敷の装飾にも当時の新しい素材であるガラスも取り入れられ、伝統的な工法と、最新の技術や素材を融合させて造られた、究極の土蔵と言って過言ではない。

このほか、南蔵、中央蔵、麴蔵、東前蔵、西蔵が登録文化財。

～ 増田町観光協会「伝統的建造物 解説シート」より ～



（見学会の写真は、背表紙にも掲載されております。）

親子体験学習～IN 遊学舎

秋田中央建築士会 樋 渡 博 子

女性委員会主催「気持ちのいい家作ろう」の開催は、秋田中央支部の当番にて、秋田市遊学舎で行われました。私自身は3度目の参加でした。10組の参加募集に対し、きっちりと10組の応募でめでたく開催当日を迎えました。

当日は天候に恵まれ、資材搬入等もスムーズに進み好調なスタートでした。チームワークも最高で昼前には搬入・会場設定とも問題なく完了し、あとは弁当とお客様を待つのみとなりました。自分の担当する親子はどんなだろうかと気になる中でのご来場で、二人の男の子（8歳と5歳）とそのお母さんの3名様にてよ～いドンです。

お母さんは子供に決定権を与え自分は傍観者を装っていました。私はというと、どこまで介入しているのか、私の一言に大きく共鳴して私の作品にならないようにとても気を使いました。時間の経過とともに変わってきたのは弟君でした。お兄ちゃんの製作途中の段ボールハウスに入り込み、そこそこの破壊力を発揮するようになり、お母さんも手に負えずじまい。しかしながらお兄ちゃんの制御がほどよく効いていて感心しました。でもそれもつかの間で暴れん坊将軍になったところで“オヤツタイム”に突入して、あっという間に借りてきた猫に大変身！私自身、男の子の育児経験が無く暴れん坊ぶりにはたまげました。

一服（オヤツタイム）終了後は最後の追い込みに入り、ちょっと焦りも感じられるくらいで、そんな中でのお母さんの参戦となりました。自分も少し参加の形を加えたいと、お兄ちゃんに断ってからカーテン製作に入りました。材種と工法をお兄ちゃんの許可を得てからの参戦で、子供に主導権をあげているからだな～と若いお母さんに感銘いたしました。

完成したお家は他のチーム（親子）の物件とは見劣りするような大雑把なつくりで、建築屋（私）としての助言や自分のセンスの無さが映し出されたようで恥ずかしいと思いました。しかし、お母さん・子供たちが作ることの楽しさと自分たちで作ったことの喜び、そして、子供に初めてカッターを使わせた緊張感を私達に話してくれたことが恥ずかしい気持ちを吹き飛ばしてくれて、私にとっても、気持ちのいい体験学習（補助員）となりました。



「大館市ヘリテージマネージャー養成講座」を終えて

大館・北秋田建築士会 会長 石 川 成

〈プロローグ〉

ことの始まりは、平成 26 年に横手市で行われた「秋田県ヘリテージマネージャー養成講座」でした。

ヘリテージって何だ？

12 回に亘る講座を全部出席が条件？

3 万円もの受講料だもの 2～3 回位休んだって大丈夫だろう？などと勝手に考えて、気楽な感じで受講申込。ところが始まってみると、安易な気持ちで出した「欠席願い」が当時の士会事務局長「小野様」より「欠席理由は、合理的な内容を添えるように」とのお叱りを受け書き直し。

後日、「レポートを次回までに提出すること」と欠席した講座の DVD を預かり、折れそうな心を必死で支えながらの 4 時間に及ぶ DVD との格闘 (?)……。これははっきり言って、「拷問」でした。簡単には欠席できないとしっかりと理解することが出来ました。

夏に始まった講座も冬になり、雪道を大館から横手まで通い「これは本当に大変な講座に参加したものだ」と思いましたが、ここまで来てあきらめる事はできません。

最終日の「閉校式」「懇親会」では、達成感・開放感で久しぶりの「卒業式」感を味わうことが出来ました。そしてそこに「できれば大館・北秋田でもこの講座を開催したいものだ」と考えている自分がいたのです。

〈始まり〉

「何時かは大館で」と思いながら 2 年が過ぎ、大館市が「歴まち申請」の準備をしているとの情報を得て、担当課に「何かお手伝いをすると事はないですか」と訪問。

その後、課長さん初め担当職員の方々と興味のある会員数名で仕事帰りに「懇談会」をしながら交流を深め、「歴まち認可」の折には是非「ヘリテージを」と情報交換。

平成 29 年 3 月に「歴まち認可」を受け、平成 30 年度予算要求に組み入れるための準備が始まり、具体案に取り掛かる。横手市や盛岡市の講座を参考にしながら、講義内容・講師の先生・雪が降る前に講座を終える日程等を検討。

しかし、講座でお会いしたとは言え名刺交換もしていなかった先生方にどう連絡を取ればいいのか、どういう内容の講義をお願いできるのか、暗中模索の中。横手市の担当者の皆さんや「あきたヘリテージマネージャー協議会」の会長鈴石さん・事務局長の高荒さんのお陰で何とかまとめることが出来ました。

開始は年度初めの 5 月としましたが、文化庁からの予算内示は



開校式



泉家住宅調査



桜櫓館調査



調査報告会

あっても決定通知はなく、見切り発車的に講座を始めることになりました。

〈大館市ヘリテージマネージャー養成講座〉

受講者は県内各地からの26名で、建築士以外の方や行政関係者の参加もあります。

予定通り5月12日の「開校式」で始まり、順調に回をかさねることができました。

7月14日の第5回目には終了後に「懇親会」を開きました。ほとんど座学ばかりで、どんな人達が一緒に受講しているのか、次の回の演習では実際の建物を3班に分かれて協力して調査することになるのでお互いを知り合うためにと企画しました。市外からの参加者の多くは宿泊することになるのですが、受講者17名の参加で一部は3次会まで盛り上がったようです。

7月28日の第6回は、「料亭濱家」・登録文化財の「桜櫓館」・秋田犬保存会初代会長の「泉家住宅」の調査実習です。午前10時、注意事項等の説明後直ぐに調査建物に移動し、午前中の調査（平面図用調査・写真撮影等）開始。昼食後、一度グループ内の調整をし、不足部分や聞き取り等の再調査。しかし、この日は真夏の天候で暑く、4時頃までの予定が3時頃には各班疲れきって公民館にご帰還。後日、遠く離れたグループメンバーとの調整を経て、9月8日に調査報告会と担当講師による講評。各班一生懸命やったのですが、講師よりの講評にタジタジ。お疲れ様です・・・。

でもその次の回は、講師予定の弘前大学北原教授が体調を崩し、急遽講師の変更を決めなくてはならなくなりました。わたしもタジタジで、直ぐに鈴石会長・高荒事務局長に連絡し、後任のお願い。さすがにお2人は直ぐに人選をして、交渉も順調で無事講座を終えることが出来ました。（よかった、良かった！）

受講生にとっては最後の難関、「私が見つけた歴史的建造物」の調査が始まりました。各自が今までの講習の成果を発揮し、独自に歴史的と思われる地元の建造物を2件探し出し、簡単な調査をして発表するのです。その内容で「ヘリテージマネージャー」として適切かどうかを講師の先生に判定してもらうことになるのです。

第12回（11月17日）は最初の1件目の発表と講師による講評。このときの講師が「文化庁文化財部建物担当調査官」でした。市内の建造物を講義前に見ておきたいとのことで、前泊していましたから「夕食会」を一緒にさせてもらいました。その時「受講生のためにも気付いた事はバンバン言ってください」と軽い気持ちで話したら、当日の発表会では、受講生が少し可哀想になりました。（皆さん申し訳ございません。）

最後の13回目の講師は、以前文化庁で大館市の唯一の重要文化財「八幡神社」を担当したという工学院大学の後藤教授です。前回のこともあるので皆さん緊張していたようですが、後藤先生は端的な言葉で「こうすれば良くなりますよ」的な講評で一安心でした。また、欠席者による「DVDレポート」も見ていただき、「皆さんよくやっていますね」とお墨付きを戴きました。

よって、その後の「閉校式」では受講生全員の「ヘリテージマネージャー養成講座修了」が認められま



桜櫓館調査報告



文化庁大石調査官の講評



後藤教授の講評



修了証伝達式

した。受講生のための「慰労会」も開かれ、ホテルでの二次会・居酒屋での三次会・ショットバーでの四次会と別れを惜しみつつ久しぶりに大館を夜通し楽しむことが出来ました。

〈エピローグ〉

これからは、年が明けてからの大仕事「養成講座報告書」の作成があります。

次年度からは受講生を対象とした「スキルアップ講習」の開催や实际的建物調査などを予定しています。私にとっても「スキルアップ講習」のような養成講座でしたが、何より講師の先生方と夕食会とともに出来たこと、各地の受講生と知り合いになれたことが一番の成果です。お互いに連絡を取り合いながら、地域を越えてこの講座の成果を活かしていけたらと思っています。



平成 30 年度 大館市ヘリテージマネージャー養成講座プログラム

回	日時・場所	内容	講師	講義	演習	流れ
第 1 回	平成 30 年 5 月 12 日(土) 13:00～17:00 大館市中央公民館	開校式 ・オリエンテーション ・「歴史まちづくり」と HM に期待するところ ・ヘリテージマネージャーの役割と展望	・(一社) 秋田県建築士会会長 淡路孝次 ・大館市まちづくり課 課長 齋藤和彦 ・ひょうごヘリテージ機構 沢田 伸	1.0 1.0 2.0		プロ ローグ
第 2 回	平成 30 年 5 月 26 日(土) 13:00～17:00 大館市中央公民館	文化財行政・景観行政・関係法令について ・文化財行政・秋田県の文化財 ・建築基準法と文化財保存 ・景観法と秋田県の景観行政	・秋田県教育庁文化財保護室 石井 啓之 ・北秋田地域振興局建築課長 菅野 敏和 ・秋田県建設部都市計画課 馬渡 智彦	2.0 1.0 1.0		法律 関連
第 3 回	平成 30 年 6 月 9 日(土) 13:00～17:00 大館市北地区コミュニ ティーセンター	歴史的文化遺産の活用等について ・歴史文化遺産を活用した地域再生 ・横手市増田町重伝建保存地区とまちづくり	・文化庁文化財部調査官 金井 健 ・横手市歴史まちづくり課 石田 正明	2.0 2.0		意義
第 4 回	平成 30 年 6 月 23 日(土) 13:00～17:00 大館市中央公民館	歴史的建造物の調査法 ・歴史的建造物の調査法 ・要領、心掛けほか	・文化財建造物保存技術協会 事業部参事 木村 和夫	4.0		実践 的調 査法
第 5 回	平成 30 年 7 月 14 日(土) 10:00～17:00 大館市中央公民館	歴史的建造物の調査報告書のまとめ方 ・建造物調査・報告書作成演習 ・報告書作成実務について	・秋田ヘリテージ協議会会長 鈴石 博実 ・塩尻市重伝建専門員 渡邊 泰		6.0	
第 6 回	平成 30 年 7 月 28 日(土) 10:00～17:00 大館市中央公民館	大館市内の建造物での調査実践 ・WG による 3 箇所の調査 (桜櫓館・料亭濱家・泉家住宅)	・大館市 ・大館・北秋田建築士会		6.0	
第 7 回	平成 30 年 8 月 25 日(土) 13:00～17:00 大館市北地区コミュニ ティーセンター	木造伝統構法 ・木材の種類と活用状況 ・在来工法の継手と仕口	・秋田県木材加工推進機構 顧問 飯島泰男	4.0		調査 法の 確認
第 8 回	平成 30 年 9 月 8 日(土) 10:00～17:00 大館市中央公民館	受講者が調査した文化財建造物の報告 ・各受講者による発表と講評	・塩尻市重伝建専門員 渡邊 泰		6.0	
第 9 回	平成 30 年 9 月 22 日(土) 13:00～17:00 大館市北地区コミュニ ティーセンター	歴史的建造物を活用したまちづくり ・歴史的建造物と修景整備について ・先進的事例と今後の計画	・(株) 協和コンサルタンツ東北支社 グループリーダー 佐藤 恭子 ・日本ナショナルトラスト 専門研究員 三浦 卓也	2.0 2.0		補修・ 利活用 法
第 10 回	平成 30 年 10 月 6 日(土) 13:00～17:00 大館市中央公民館	歴史的建造物の修復と計画 ・修復計画とその実施 ・歴史的建造物の耐震補強	・文化財建造物保存技術協会 事業部参事 木村 和夫 ・秋田県立大学 教授 板垣 直行	2.0 2.0		
第 11 回	平成 30 年 10 月 20 日(土) 13:00～17:00 大館市中央公民館	古民家、町家の再生と活用	・工学院大学 教授 後藤 治	4.0		
第 12 回	平成 30 年 11 月 17 日(土) 10:00～17:00 大館市中央公民館	受講者が発見した文化財建造物の報告 ・各受講者による発表と講評	・文化庁文化財部調査官 大石 崇史		6.0	最終 確認
第 13 回	平成 30 年 12 月 1 日(土) 13:00～17:00 大館市中央公民館	受講者が発見した文化財建造物の報告 ・各受講者による発表と講評 閉校式	・工学院大学 教授 後藤 治 ・(一社) 秋田県建築士会会長 淡路孝次 ・関係各位	1.0	3.0	
				33.0	27.0	

- ※ 1) 講座全体の所要時間は講義が 33 時間、演習が 27 時間、合わせて 60 時間となります。
- ※ 2) 申込された方には、原則全回数を受講していただきます。全回数を受講された方のみ終了証を発行します。
- ※ 3) CPD の単位取得は、受講 1 時間につき 1 単位を予定しています。1 時間以上の遅刻、途中退場者は加点されません。
- ※ 4) 講座会場・講義内容・講師は変更になる場合がありますので、事前の連絡にご注意下さい。

女性委員会活動の一コマ

北秋支部学習会に参加して

大館北秋田建築士会 藤 嶋 秀 美

11月3日北秋支部学習会として5名参加。

東京大学の鎌田実先生（東京大学 大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻 教授兼：高齢社会総合研究機構、工学部機械工学科）を講師に「長寿社会のまちづくり」と題してお話を伺いました。（鎌田実先生とは、20年程前の旧鷹巣町でデマンドバスによる交通実験を担当された時から親交を深めてきました。）鎌田先生は、平成28年12月より上小阿仁村で行われている国土交通省の自動走行運転の実験に携わっており、こちらに来られる機会に勉強会をお願いしました。

内容は、東京都心から30km圏内の千葉県柏市についての高度経済成長期からの人口動向より、特に75歳以上の人口増加に対して安心して豊かなまちの暮らし方、あり方の取り組みについてでした。在宅医療を推進させるために、医療サービス・介護サービスを端末で情報共有し、市民への啓発・相談・支援の充実。又、元気な高齢者の新しい活躍の場として「生きがい就労」を推進し、65歳以降も慣れ親しんだ生活スタイルで地域貢献できる事業を創り上げています。

このようなシステムを全部真似ることは難しくても地方でも少なからず出来る事があるはずです。秋田県は急速に高齢化が進んでおりますが、健康寿命をもっと伸ばすためにも「生きがい就労」を積極的に取り入れて「元気な年寄（秋田弁でとしより）」がイキイキ働ける場が増えてくれればと願っております。自分の10年後を考えるよいきっかけになりました。

皆さんも健康で明るい年をお過ごしください！



「鳥海山木のおもちゃ美術館」の見学会

由利建築士会 周 防 敦 子

由利支部女性委員では、平成30年11月3日に由利本荘市鳥海山木のおもちゃ美術館へ見学に行ってきました。

「鳥海山木のおもちゃ美術館」は、国登録有形文化財になっている旧鮎川小学校を活用して平成30年7月1日にOPEN。木のぬくもりのある校舎と体育館には木のおもちゃがあふれ、所々に楽しい工夫がされていて、子供達はいつまで居てもあきる様子がありません。

小学校の高学年ぐらい男の子が5～6歳の子供にコマ回しの遊び方を教えているのをみて、自然に年代が違う子供どうして交流が図られていてすばらしい施設だと思いました。

建物は使ってこそ！子供達が使っていた学校を子供達が遊べる場所として使用していく。
良い活用だと思いました。そして、子供連れでも活動できる女性委員会ありがたいと思います。



優良建物見学会 IN 鶴岡・にかほ 楽しいよ・女性部会

秋田中央建築士会 竹 田 青 子

9月の秋田中央建築士会、優良建築物見学会で鶴岡方面に行ってきたのですが、勉強熱心な女性部会のみんなは時間が足りなかった。まだまだじっくり見てみたいとの声があり、久々のお泊まり。1泊2日で11月10日（土）11（日）研修旅行に出かけました。

市役所、朝8時30分出発。何年か前までは、秋田時間で遅れてくる人が何人かはいたのですが、近頃は誰一人遅れる人もいなく、順調な出発です。

初めに見学したのは、本間美術館です。建物、庭、池、全てが感動でした。訪問した時期も良く、国指定名勝本間氏別邸庭園（鶴舞園）の紅葉が見事で落葉のもみじとのコントラストが素晴らしかったです。別邸（清園閣）も見る距離と角度によって模様が浮かんだり、消えたり。金箔が隠し塗られた壁、大正ロマンを偲ばせる家具、照明灯具、階段部、欄間、床の間、見所満載。

「ちょっとこっちさ来てこの収まり見てみれ、あっちの襖の取っ手良かったよ」先輩達の解説も有り、興味深く見学することができました。歪んだガラス越しに見る庭も趣があって素敵でした。酒田の迎賓館として使用されたのがわかります。

初日のお昼は、美味しい麦切りが食べられると有名な「寢覚屋半兵衛」で、ボリューム満点、ざる麦切りとざるそばをいただきました。7人なのに10人前位の量。少食の人もいて、年下は食べないと…しかし、「もう食べられない、おなかパンパン、もう無理」と言いながらざるそば2.5人前、麦切り1人前は食べちゃいました。

次に向かったのは致道博物館内の重要文化財。擬洋風建築旧西田川郡役所、旧鶴岡警察署庁舎、旧渋谷家住宅、旧庄内藩主御隠殿を興味深くゆっくり散策する事が出来ました。

象潟に戻り、今日の宿泊場所は「夕日の宿 さんねむ温泉」。途中より参加した人たちも全員集まり、総勢11名。これからの女性部会の事業計画、役員改選、新入会員をどのようにしたら増やせるか、2021年建築士会全国大会あきた大会の話もしながら、美味しい食事とお酒を食しながらの意見交換です。

部屋に戻ってからもお泊まりだと普段なかなか時間が無くて話せてないこともじっくり話せます。次の

日もあるのに寝不足にはなりますが話は尽きません。

2日目は蚬満寺を見学。猫ちゃんたちがお出迎えしてくれました。見学者は私たちだけ、普段はもっといるのかな。庭もきれいに手入れされ、ゆっくりとする空間でした。

次に向かったのは「道の駅ねむの丘」。展望台からの眺めは天気も良く、すごくすごくいいです。「日本海すげー」の一言につきます。ずーとここに居たい気持ちになります。ここで生まれ育った人達がいいます。県南育ちの私はうらやましい限りです。

主婦達は隣接されている「にかほっと」でお魚や野菜くだものなど今日の夕飯のお買い物。

ちゃんと主婦、おかあさんもしています。

次の見学は TDK 歴史未来館。個人的には3回目なのですが、ここに来るたび科学の進歩に驚かされます。IoT で繋がるスマートハウス、フューチャータウン 2035、インタラクティブマグネティックフィールドシアターなどの未来の世界。自分は今うついて行けない世界になってきています。

お昼を旧佐々木家住宅の「まがりや食堂」でいただき、その後、鳥海山木のおもちゃ美術館を見学しました。「今度は孫連れてこよう」おばあちゃん業もしていました。

2日間とても有意義でとても楽しかったです。参加しないと良さが分かりません。

難しく考えるのではなく、まずはいろんな行事に参加して楽しみましょう。

仲間っていいなあ。明日からまた元気に働きます。



「常安寺五重塔見学と五日町散策」に参加して

仙北建築士会 佐々木 安 子

11月11日に山形県天童市で開催された第1回建築女性フォーラム「常安寺五重塔見学と五日町散策」に参加してきました。

朝6時頃大曲を車で出発し途中休憩をとりながら、受付会場の「なか川」の駐車場に9時半頃に到着。

10時に山形県建築士会女性部委員長原田さんの開会の挨拶があり、午前の部の案内人古城西まちなみ委員の加藤さんから天童市の由来や都市計画道路・まちなみ基準などを解説していただき、晩秋の穏やか日差しと心地良い風の中出発しました。片側 700 m程です。

個人の住宅や商店・病院・酒店などの前で、建物の壁面後退、屋根の形状・勾配、道路に面する開口部のデザイン、板塀、看板、シャッター、空調機等を加藤さん流のユニークな説明と笑いの中にまちなみ協定の難しさなど伺いながら五日町まち歩きをしました。

午後の部は常安寺五重塔の見学です。

仙北支部からは五名の参加、大館北秋田支部からは三名（松橋委員長と石川支部会長）の参加でした。

常安寺の本堂にてご住職から五重塔建立の経緯を伺い、関設計さんからは五重塔の構造などの説明をしていただき、青森ヒバが香る現場を見学者が多いため3班に分かれて見学しました。

四層目の壁まで出来上がっていましたが冬期は休み、2019年3月から工事を再開し8月には完成するそうです。

完成した高さ 32.7 mの五重塔を見たいと思いました。



ヘリテージマネージャー養成講座を受講し終えて

鹿角建築士会 柳 沢 富美男

○ネーミング

ヘリテージマネージャー……実に判り難いネーミング。説明に骨が折れます。

連合会ではこれに（地域歴史文化遺産保全活用推進員）とカッコ書きし説明しております。敢えて横文字にしなくともよかったのでは。（少し長すぎますが。）横文字にすると「ヘリ・テ・ジ・マ・ネ・ジャーではなく、ヘリテージマネージャーが正しいのではないか。」と淡路会長がおっしゃるのもごもっともなこと。しかし、ここは日本。我が敬愛する加藤周一の雑種文化論を持ち出すまでも無く、たとえば、若者言葉は良くアクセント位置をずらし、外来語をすぐ日本語にします。

判り難くても良いのであれば、いっそ「ヘリマネ」というのは如何でしょう。何やら厚化粧のいかわしい女性を想像してしまいますが。

○言葉

たとえば、ある建物の有形文化財の申請をしようとする時、その建物の特質・価値或いはデザインの優位性等を適切で判り易い言葉で表現しなければなりません。綿密な建物や歴史的な調査はもちろんですが、最終的に表現するものは言葉（言語）です。少しの図面と写真は添付しますが、それは言葉を補足するもののようです。

講師の方々からは再三言葉の重要性を説かれた気がします。この事は常に心の中にびしりと留め置く必要があると思います。言葉が無ければ世界が存在しない。言葉が無ければ愛も恋も美も存在しないということです。哲学的には理解しているつもりでも、「男は黙って・・」の時代に育ち、図面が全てと教えられて来た身には辛い命題です。

○建物より・・

養成講座の中で歴史的建造物の調査がありました。グループに依る調査でしたが、大変面白い経験をさせて頂きました。

不明な点等が多く、三度調査に訪れました。確かに見ていた筈なのに自分では全く気付かず、他の人の指摘や写真でやっと気付く等、如何に自分の目が節穴なのかつくづく思い知らされました。それでも聞き取りと調査等を通じて往時の姿が少しずつ明らかに成って行く様は、上質のミステリー小説を読む様で大変ワクワクするものでした。

我々のグループが調査したのは旧料亭でしたが、従業員がお膳やお酒を運び、お客は芸者さんの踊りを観て、お膳をつつき乍ら美味しいお酒お飲み、歓談し、お座敷遊びをし、人目を気にしながら家路に着く様子が次第にみえて来る様でした。

「建物より断然人間の方が面白い。」と思わせたのはメンバーに恵まれたせいでしょう。感謝、感謝。

○不真面目・体たらく

最後の講座は「私が見つけた歴史的建造物」と題し、まだ文化財に指定されていない建物を2件見つけ、その建物を調査し報告するものでした。私は事務所から150m 圏内の2物件を選び、提出期日当日の唯一回のみの聞き取りで、2物件合計の調査時間約2時間でお茶を濁しました。受講者の皆さんの調査報告を聞き、その入念な調査報告には只々恥じ入るばかりでした。

私の住む鹿角市十和田毛馬内には文化財登録されていない、築100年以上の建物が数多くあります。市はこれらの建物に殆ど無頓着ですし、それを取り巻く我々建築士も残念ながら殆ど無関心です。それでも古い建物がこれ程残っているのは、そこに住む人達が古い建物に住むことに矜持を持っているためです。今のうちに何とかしなければ、近い将来、全てが消え行くかもしれません。この冷えきった冬の夜にこれでもかと厚着をし、痩せ我慢をしている老人を想像すると心が痛みます。感謝です。

講座の中で、自治体にはお金がないので古い民家に住んでいる方々を表彰しているという事例が有りましたが、そんなところからでも始めようと考えております。

スコラ哲学やスコラ学の語源は学校（school）の語源と同じく、ギリシャ語のスコレー（skhole）だそうです。スコレーは暇、余暇という意味だそうです。暇な人達（時間的余裕ある人達）が集まるが学校であり、時間的余裕がなければ、哲学も無いという事でしょう。忙しいというのは本当に心を亡ぼします。私には哲学は無縁でしょうか。

○ついでに戊辰戦争

歴史的建造物調査のついでに何十年振りかで鹿角市先人顕彰館を訪ねました。

世界的東洋史学者「内藤湖南」や十和田湖でヒメマス養殖に成功した「和井内貞行」の展示をメインにしている顕彰館です。ここで「戊辰戦争 150 年 戊辰戦争の中の鹿角」という企画展が開催されております。（平成 31 年 3 月 31 日まで開催されて居ります。）

戊辰戦争で秋田藩（久保田藩）は出動兵員数約 8 千 7 百人余りと西軍中第一位です。戦死者数は約 330 名で薩摩・長州に次いで第 3 位と甚大な損失を被りました。この戦死者数は戦闘員の数で非戦闘員は含みません。しかも焼失家屋は 7 千 2 百戸余り。4 万 5 千人以上の人が家屋を失ったことになり



十和田毛馬内古下 古町通り（先人顕彰館通り）秋景



十和田毛馬内古下 古町通り冬景（左手が先人顕彰館の建物）



古町通り（先人顕彰館向かい）にある築 267 年の伊藤家

ます。秋田藩は西軍で勝利した側です。しかし、その論功行賞は僅か2万石。その上、奥羽越列藩同盟を離脱し、150年たった今でも旧仙台藩・庄内藩・盛岡藩からは裏切り者と謗られるのは、かの闇討ち事件が大きく影響しているようです。同盟の離脱は仕方ないとしても仙台藩の十人余りの使節を闇討ちし、皆殺しにして五丁目橋に晒し首にしたのは余りに残酷無惨な事件でした。



伊藤家のほぼ隣りにある築147年の立山家

物質的にも精神的にも多くのものを失い、すっかり新しい時代の波に取り残されてしまったのが秋田藩でした。

その秋田藩よりさらに悲惨だったのが、ここ鹿角です。鹿角は旧盛岡藩（南部藩）に属して居りました。戊辰戦争では秋田藩との戦いの拠点となり、仙台藩、庄内藩が西軍に降伏した後も戦い続け、同盟軍の中では最後の賊軍となりました。

戦いに敗れ、明治4年に本来なら岩手県に編入されるべきが、あろう事か秋田県に編入となったのです。鹿角にあった10万石以上の価値があると言われた鉱山の利権がその要因のようです。

同じ秋田県に編入になったとは言え、家を焼かれ肉親や友人を失った旧秋田藩の人々にしてみれば当然のことながら、旧盛岡藩に属した鹿角の人達をそう簡単に受け入れて呉れる筈はなく、「賊藩の輩」と言っでは差別され、無視され、活躍の場を閉ざされ、肩身の狭い思いで暮らして来たのが、鹿角の人々のようです。

ここで話が終われば、哀れな秋田・屈折した鹿角で終わってしまうのですが、「戊辰戦争とは一体何だったのか、何処と何処が何のために戦ったのか。」が問題です。

結論から言えば、戊辰戦争は「薩長連合軍対東軍」の戦いであり、薩長連合が自らの政権をつくるための軍事クーデターを画策し、その残虐非道なやり口に反旗を翻したのが東軍というのが真相のようです。もう少し穏やかなやり方で事を運べば、これ程、日本国中に確執を生み、多くの犠牲者出す無益な戦争は避けられたのではないのでしょうか。

NHKの大河ドラマで幕末物が良く出て来ますが、何れも後から創られた薩長史観に基づくものです。「薩長土肥の若き勤王の志士たちが封建的な守旧派を破り、大革命を起こした正義の戦い」これが戊辰戦争と教えられて来ました。しかし、史実は全く違うものようです。

そもそも「明治維新」という言葉が最初に登場するのは明治13年以降だそうです。

「明治維新」というのは自分達の起こした革命が如何に素晴らしいものであったかを喧伝するためのプロパガンダ・コピーだったのです。

歴史は難しい。

忘れてませんか！ 建築士定期講習のお知らせ

平成20年11月28日施行の改正建築士法により、建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年以内ごとに受講しなければなりません。

建築士事務所に所属する方で、平成27年度に建築士定期講習を修了した方及び平成27年度以前に建築士試験に合格し建築士として登録した方でまだ受講していない方は、平成30年度中に当該建築士定期講習を受講しなければなりません。

今回は平成30年度の最後の講習になりますので是非受講をお勧めします。

第4回定期講習（1E-04）

と き：平成31年3月5日(火)

ところ：秋田市文化会館 5階大会議室

募集期間：平成29年11月14日から平成30年2月17日

登録講習機関 公益財団法人 建築技術教育普及センター

受付機関 （一社）秋田県建築士会 事務局

受講申込書を希望する方は、事務局までお問い合わせ下さい。

電話 018-827-3718 FAX 018-827-3873

会 務 報 告

(平成 30 年 8 月～平成 30 年 12 月)

- | | | |
|-------------|--|---|
| 8 月 21 日(火) | 平成30年二級建築士学科試験合格発表。合格者57名
於：宮城県 | |
| 8 月 24 日(金) | 平成30年度第 1 回連合会青年委員会へ、工藤青年委員長出席
於：東京都 日本建築学会 | 平成30年度木材利用提案コンクール審査委員会へ、淡路会長出席
於：秋田地方総合庁舎 |
| 8 月 28 日(火) | 第64回建築士会全国大会あきた大会第 1 回総務・式典部会開催
於：ユースパル | 9 月 27 日(木) 平成30年度第 2 回理事会開催
於：センタース 会長 淡路孝次 外 |
| 8 月 29 日(水) | 平成30年度事務局職員研修会開催
於：アトリオンビル
会長 淡路孝次 外 | 10 月 2 日(火) 秋田県県民栄誉章表彰式へ、淡路会長出席
於：県庁「正庁」 |
| 8 月 31 日(金) | 平成30年度被災建築物応急危険度判定・連絡訓練へ、植田事務局長外参加
於：秋田県建築士会 事務局 | 10 月 3 日(水) 一級・二級・木造建築士定期講習開催
受講者 49名
於：北秋田市交流センター |
| 9 月 1 日(日) | 女性委員会東北ブロック会視察・見学会へ、淡路会長外出席
於：宮城県 | 10 月 6 日(土) 第43回（一社）北海道建築士会全道大会（土別大会）へ、淡路会長出席
於：北海道士別市民文化センター |
| 9 月 4 日(火) | 平成30年一級建築士学科試験合格発表。合格者 13名 | 10 月 12 日(金) 第32回秋田の住宅コンクール審査会へ、松橋女性委員長出席
於：秋田ビューホテル |
| 9 月 9 日(日) | 平成30年二級建築士製図試験実施 受験者 84名
於：秋田市生涯学習センター | 10 月 13 日(土) 秋田県建築士会大会横手大会開催
10 月 14 日(日) 現場見学会開催
於：横手市
平成30年一級建築士製図試験実施
受験者27名
於：秋田県 J A ビル |
| 9 月 13 日(水) | 第64回建築士会全国大会あきた大会第 1 回会場行事委員会開催
於：秋田市文化会館 | 10 月 15 日(月) 第 1 回会員増強対策タスクフォースへ、淡路会長出席
於：東京都 建築会館 |
| 9 月 18 日(火) | 連合会総務・企画委員会へ、小原総務副委員長出席
於：東京都 建築会館 | 10 月 20 日(土) 第32回秋田の住宅コンクール表彰式へ、淡路会長出席
於：秋田市にぎわい交流館 |
| 9 月 20 日(木) | 平成30年度東北ブロック「まちづくり委員会」へ、鳥潟まちづくり委員長、鈴石まちづくり活動部会：景観まちづくり（東北 B リーダー）出席
於：宮城県 | 10 月 22 日(月) 平成30年度木造住宅の耐震化の促進等に関する連絡会議へ、植田事務局長出席
於：秋田地方総合庁舎 |
| 9 月 25 日(火) | 平成30年度東北ブロック会事務局職員会議へ、植田事務局長、事務局員出席 | |

- 10月25日(木) 第61回建築士会全国大会さいたま大会
連合会理事・士会長合同会議へ、淡路
会長出席
於：埼玉県
- 10月26日(金) 連合会「第61回建築士会全国大会（さ
いたま大会）」へ、淡路会長外出席
於：埼玉県 大宮ソニックシティ、パ
レスホテル大宮
- 11月3日(土) 第31回（一社）山形県建築士会青年大
会へ、工藤青年委員長出席
於：山形県 グランドエル・サン
- 11月8日(木) 一級・二級・木造建築士定期講習開催
受講者112名
於：大仙市大曲交流センター
- 11月10日(土) 平成30年度岩手県建築士会青年大会
釜石大会へ、工藤青年委員長出席
於：岩手県 釜石情報交流センター
- 11月14日(水) 平成30年度中間会計監査開催
於：アキタパークホテル
会長 淡路孝次 外
- 12月1日(土) 平成30年度大館ヘリテージマネー
ジャー養成講座閉講式及び受講修了書
授与式へ、淡路会長出席
於：大館市中央公民館
- 12月6日(木) 平成30年二級建築士及び木造建築士製
図試験合格発表。二級合格者37名
- 12月13日(木) 平成30年度第3回理事会開催
於：秋田アトリオンビル
会長 淡路孝次 外
- 12月20日(木) 平成30年度一級建築士製図試験合格発
表。合格者7名。

平成 30 年 8 月～平成 30 年 12 月

地域会だより

○鹿角建築士会

平成30年

- 8月31日 第2回青年委員会開催（参加者4名）
9月15日 かつの元気フェスタ準備（参加者10名）
16日 かつの元気フェスタ（於：鹿角スポーツセンター）
・模擬上棟式 木組作業の後、子供参加の上棟式を開催。
・来場者へ「餅まき」を模した菓子まきを開催。
・木工体験コーナー 親子参加で木工製品製作
・木とのふれあい体験コーナー
（鹿角建設技能組合青年部鹿角十和田建設技能組合青年部合同）
（参加者10名）
10月13日 第43回秋田県建築士会横手大会に参加
（於：横手プラザホテル）
講演会 講師 横手市歴史まちづくり課 石田 正明 氏 ほか
「横手市増田重要伝統的建造群保存地区について」
パネルディスカッション
「歴史的地区に暮らすとは？その取り組みと建築士の役割」（参加者3名）
10月26日 全国大会（さいたま大会）記念講演及び式典に参加（於：大宮ソニックシティ）（参加者4名）
27日 重要文化財 上野旧岩崎邸見学
（参加者3名）
国立近現代建築資料館見学「明治期における官立高等教育施設」の建築資料等閲覧
国立西洋美術館（設計者：コルビジェ）・東京文化会館（設計者：前川国男）見学
川越市川越伝統的建造物群保存地区及び川越城 見学

- 28日 狭山湖畔霊園管理休憩棟及び狭山の森礼拝堂（設計者：中村拓志）見学
（参加者3名）

○大館北秋田建築士会

平成30年

- 10月13日 第43回（一社）秋田県建築士会大会横手大会
・大会式典
・フォーラム
・パネルディスカッション
於 横手プラザホテル
参加 11人
14日 平成30年度優良建物見学会
・旧石田理吉家、佐藤又六家
・旧松浦千代松家、日の丸醸造株式会社
参加 9人
10月25日～28日 第61回建築士会全国大会「さいたま大会」参加 於 大宮ソニックシティ 参加 7人
12月19日 三役委員会
・新年会開催について
・理事会開催について
於 事務局
出席 3人

○能代山本建築士会

平成30年

- 8月24日 平成30年度第2回理事会
午後6時 会場～若大将
会員10名参加
案件 ○ 30年度未消化事業の日程について
○ 建築士会横手大会参加について
○ 建築士会埼玉大会参加について

終了後 懇親会

10月10日 料亭「金勇」 清掃ボランティア 青年委員会 7名参加

場所～能代市 柳町 料亭「金勇」

午後3時～

和室の桼上部 天井等清掃

10月13日 建築士会全県大会横手大会 7名参加

10月14日 30年度 優良建物見学会

横手 1名参加

10月26～27日 建築士会全国大会 埼玉大会
3名参加

11月18日 30年度第2回 建築相談会

会場～ 能代市萩の台 「サンウッド」

午前10時～午後3時

会員5名参加 相談者 4組来場

終了後懇親会



○秋田中央建築士会

平成30年

9月1日 女性部会 東北ブロック会女性委員会
(5名参加)

(東北大学 片平キャンパス)

2日 女性部会 建物見学会 (5名参加)
(しおがま町並み～まちあるき)

9月11日 事業委員会 平成30年度 優良建物見学会 (35名参加)

1. 荘銀タクト鶴岡

2. 鶴岡まちなか散策

3. SHONAI HOTEL SU
IDEN TERRASSE

4. 懇親会 (あっぱれ寿司)



9月29日 女性部会 第2回学習会（10名参加）
（県）親子体験学習「気持ちのいい家
をつくろう」 in 秋田中央



10月4日 ひびき編集委員会 第1回委員会
（於 やまがた庵）（8名出席）
1. ひびき40号の編集方針について
2. 予算について
3. 役割分担について
4. 各部会の対応について
5. 今後のスケジュールについて
6. その他

10月13日 第43回（一社）秋田県建築士会大会
横手大会（15名参加）
（於：横手プラザホテル）

10月14日 平成30年度（一社）秋田県建築士会
優良建物見学会（9名参加）

10月25日 第61回 建築士会全国大会 さいたま
～27日 大会（14名参加）
（於 大宮ソニックシティ）

11月10日 女性部会 第3回学習会（11名参加）
～11日 ・鶴岡・酒田・にかほ市 の優良建
物見学会

○由利建築士会 平成30年

9月21日 ●第1回理事会 於 本荘由利地域職
業訓練センター
・今後の建築技術研修
・市民祭り担当及び詳細について
・全国大会について

10月6日 ●建築相談会、木工教室
於 伊藤建具製作所
・市民祭りでの木工教室の木材加工



10月20日 ●建築相談会、木工教室
於 カダーレ
・市民祭りでの建築相談会、木工教室



○仙北建築士会 平成30年

10月13日 第43回（一社）秋田県建築士会大会横
手大会
12名参加

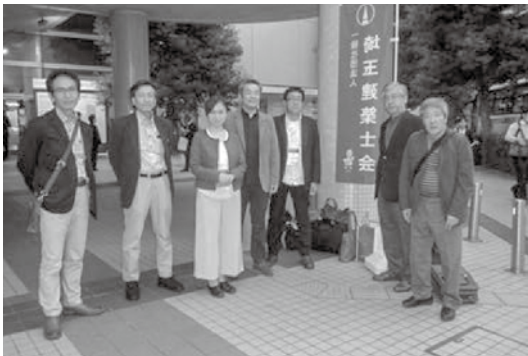
～14日 見学会
4名参加

10月20日 大仙市秋の稔りフェアに参加

～ 21日 青年委員会が協力し行う
「100円shop品と廃材で作る！！木製ラ
ック☆多」製作体験！！

と「組子コースター」の製作体験、「青森ヒ
バ匂い袋」配布

10月25日～ 26日 建築士会全国大会 さいたま
大会
10名参加



11月8日 建築士定期講習会 県南地区開催手伝
い

湊専務理事、佐藤理事

11月22日 第3回常任理事会、第2回理事会
7名出席

講習会及び新年会について

ペアーレ住宅講座について

全国大会あきた大会について

会費納入状況について

ニュース広告について

空き家無料相談会について

○横手建築士会

平成30年

7月20日(木) 横手大会運営委員会
19:00～ Y 2 プラザ

8月8日(金) 第2回理事会
14:00～ 15:30 サンサン横手

1) 会務報告

(県本部)

・理事会報告 7月31日(火)

(横手)

・年会費報告

・全県大会準備報告

2) 議題

①全県大会(横手)準備について

②その他

8月20日(木) 横手大会運営委員会

19:00～ Y 2 プラザ

9月27日(木) 横手大会運営委員会

19:00～ Y 2 プラザ

10月3日(水) 第3回理事会

14:00～ 15:30 サンサン横手

1) 会務報告

(県本部)

・理事会報告 9月27日(木) 全国
大会について他

(横手)

・10月13日横手大会準備報告

3) 議題

①全県大会横手大会準備について

②全国大会秋田大会について

③平成31年度総会について

④その他

10月3日(水) 運営委員会

19:00～ Y 2 プラザ

10月12日(金) 運営委員会

19:00～ Y 2 プラザ

10月13日(土) 第43回(一社)秋田県建築士会大会
横手大会

大会テーマ「歴史と暮らす」

13:00～ 18:00 横手プラザホテル

10月14日(日) エクスカーション

9:00～ 11:30 増田の蔵見学会

10月26日(金) 第60回建築士会全国大会 さいたま
大会に参加

「歴史に感謝 未来に約束」

会場 大宮ソニックシティ

参加人数 6名

○湯沢雄勝建築士会

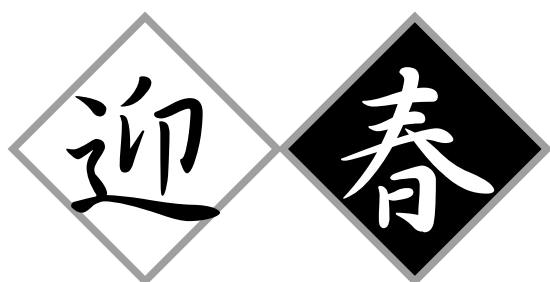
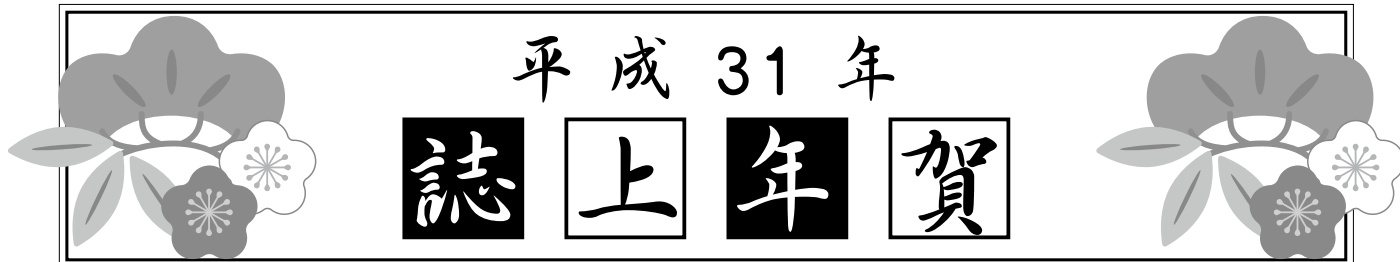
平成30年

◇ 第43回(一社)秋田県建築士会横手大会
大会テーマ「歴史と暮らす」

日 時 10月13日(土) 13:00～

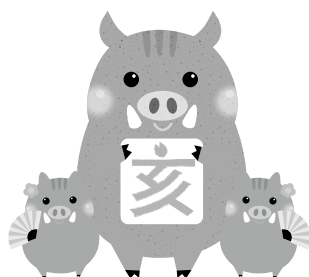
場 所 横手プラザホテル

参加者 4名



2019

新春を迎え平素のご厚情
を深謝し、皆様のご健康
とご多幸をお祈り申し上
げます。



一般社団法人 秋田県建築士会

〒010-0001

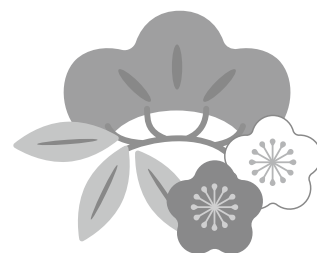
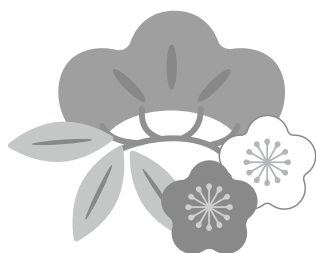
秋田市中通2-3-8アトリオン5階

(一財) 秋田県建築住宅センター内

TEL 018-827-3718

FAX 018-827-3873

会 長	淡 路 孝 次	理 事	小 原 正 明
副 会 長	熊 谷 勝 美	櫻 庭 星 治	正 星 和 美
	田 仲 雅 美	正 木 和 泰	泰 正 美
	照 井 郁 人	湊 池 泰 美	樹 臣
専務理事	小田島 誠	菊 山 脇 一	博 臣
常務理事	柳 沢 富美男	山 脇 藤 博	洋 平
	高 橋 幸 治	工 藤 博	子 子
	佐 藤 隆 志	亀 井 沢 雅	加 久 子
理 事	児 玉 安 広	松 橋 藤 加	純 悦
	石 川 成 一	伊 藤 西 純	昭 一
	鳥 潟 宏 勇	中 泉 谷 知	宏 宏
	大 高 孝 則	根	
	赤 川		



謹 賀 新 年

平成31年元旦

鹿 角 建 築 士 会

住 所 〒018-5334 鹿角市十和田毛馬内字森崎17-1 十和田建築設計事務所内
T E L 0186-30-3500 F A X 0186-30-3600

顧問 相談 会副 会総 理 事 監	問役 長 会 理 事 事 監	阿柳 阿柳 神 戸 高 安 戸 阿 田	部部 部 沢 田 館 屋 保 館 部 中	秀正 富美 幸康 廣 康 悦 教	一一 男憲 博美 尊博 郎雄	和森 大 中 西 純 悦	田昇 森 純 悦	寛治 悦	石川 典男	金澤 一美	湯金 瀬澤 芳宏 夫樹	佐藤 兄玉 重安 則宏
-------------------------------------	----------------------------------	---	---	------------------------------------	----------------------------	-----------------------------	-------------------	---------	----------	----------	----------------------	----------------------

謹 賀 新 年

平成31年元旦

人が集う快適空間づくり



屋 根 ・ 壁 ・ 鋳 り 工 事
スノーガードK（流体振動板式雪庇切）
製造・責任施工

株式会社 **キムラ鋼板**

本社／鹿角市花輪字柳田20-1／fax/0186-23-2693

☎0186-22-1213

謹 賀 新 年

平成31年元旦

設計・監理



中西建築設計事務所

主宰 中 西 純 悦

秋田県鹿角市花輪字柴切田15-3
PHONE 0186-22-1400
F A X 0186-22-4025

謹 賀 新 年

平成31年元旦

〒018-5334 秋田県鹿角市十和田毛馬内字森崎17-1



有限会社

十和田板金工業所
十和田建築設計事務所

代表取締役 柳 沢 友 三
一級建築士 柳 沢 富美男

TEL (0186)30-3500 FAX (0186)30-3600

謹 賀 新 年

平成31年元旦

建築・設計・施工
リフォーム・コンサル業務

株式会社 **創企画**

〒018-5334
秋田県鹿角市十和田毛馬内字押出35-3
TEL. 0186-35-2470
FAX. 0186-35-2733
E-mail:som99cs9@ivy.con.ne.jp

謹 賀 新 年

平成31年元旦

理想の住まいづくり私たちがお手伝いします！



有限会社 大晋建設

注文住宅・リフォームお任せください



〒018-5336 秋田県鹿角市十和田錦木字下田面29-1
TEL0186-35-3060 FAX0186-35-4738
<http://www.ii-ie.net/daishin>

謹 賀 新 年

平成31年元旦

設計監理



有限
会社

阿 部 設 計

代表取締役 阿 部 秀 一
管理建築士 児 玉 安 広

事務所／〒018-5201
秋田県鹿角市花輪字下夕町212-12
TEL 0186-23-7211 FAX 0186-23-7212

謹 賀 新 年

平成31年元旦

鋼材，鉄鋼二次製品，新建材，セメント，生コン
石油製品，農業資材，食料品，米穀集荷販売

ダイ ツ ネ

株式会社 大里恒三商店

秋 田 県 鹿 角 市 花 輪 字 下 花 輪 82
電話〔0186〕 本 店 (代)221228 FAX 221224
石油部本店 高井田給油所(代)232651 FAX 222738
一中前給油所 232987
市役所前給油所 235611
十和田給油所 352638

謹 賀 新 年

平成31年元旦

Original Frame & Urethan Panel



ウレタン断熱のバイオニア

人と地球に
やさしい家

総合建設業



株式会社 田 中 建 設

代表取締役 田 中 教 雄

秋田県鹿角市花輪字大川添26番地
TEL (0186) 22-0774(代)
URL: <http://www.fp-group.gr.jp/tanaka-kensetsu>
E-mail: tanaken@ink.or.jp

謹 賀 新 年

平成31年元旦

大 館 ・ 北 秋 田 建 築 士 会

住 所 〒017-0046 大館市清水一丁目5-4 (有)石川建築内
T E L 0186-42-2065 F A X 0186-42-1943

顧 問	役 長	福 松	原 岡	淳	嗣 裕	津 田	谷 中	永 寿	光 一	伊 石	藤 田	和 起	博 德	畠 山	光 清	由 武	高 清 水	徹
相 談	副 会 長	石 畠	川 山	富 美	成 男	小 笠 原		寿		三 浦	英 人							
会 務	理 事	鳥 島	湯 林	宏 一	男 代	齊 藤	藤 田	留 美 子	松 幸 三	橋 坂	雅 金	子 光 司		長 谷 部	大 智	高 熊	田 敏 昌	雄 剛
専 務	理 事	小 加 賀	谷 林	時 勝	真 由 美	奈 良 藤	佐 藤	勝 雄	幸 幸					武 石				
常 理		安 濃	屋 信		久 豊	赤 平	一 雄											
監 事																		

謹 賀 新 年

平成31年元旦

いつもそばに 地域と共に … 未来へ



株式会社 吉田産業

取締役支店長 松澤清美

■大館支店 〒017-0878 大館市川口字上野85-1
TEL 0186-43-2233 FAX 0186-43-2232
■能代営業所 〒016-0884 能代市卸町2-7
TEL 0185-54-2602 FAX 0185-54-8458
URL: <http://www.yoshidasangyo.co.jp/>

謹 賀 新 年

平成31年元旦

電気設備・通信・消防施設・計装・空調・送電工事の設計施工



奥羽電気設備株式会社

代表取締役 川井隆治



REGISTERED ORGANIZATION
No. 1588-2809001

本社 秋田県大館市泉町6番22号
TEL0186(42)1870・FAX0186(43)0024
秋田営業所 秋田県秋田市飯島字砂田26の9
TEL018(845)9735・FAX018(846)8255
青森営業所 青森県青森市卸町22番10
TEL017(738)6793・FAX017(738)6523
URL <http://ohwu-denki.co.jp>

謹 賀 新 年

平成31年元旦



建設から暮らしまで
おかげさまで会社設立136年
建設から暮らしまで

カクヒロ

株式会社角弘大館支店

☎017-0044 大館市御成町一丁目16番10号
支店長 柴田 望
TEL0186-42-3041 FAX0186-49-0985
URL <http://www.kakuhiro.co.jp/>

謹 賀 新 年

平成31年元旦

床材の決定版
環境にやさしい天然素材

床材・壁材・階段材・カウンター(JAS認定工場)

藤島木材工業株式会社

藤島林産株式会社

☎018-3301 北秋田市綴子字田中下モ31
TEL 0186(62)0390~1
FAX 0186(62)0392

謹 賀 新 年

平成31年元旦



人のそばに、夢のそばに。

山二建設資材株式会社
大館営業所

〒017-0838
秋田県大館市山館字八幡下150
TEL 0186(42)7521
FAX 0186(42)7520
URL <http://www.yamani-ks.co.jp/>

謹 賀 新 年

平成31年元旦

屋根・壁・太陽光発電…創エネで未来をリード



株式会社セキノ興産
大館店

〒017-0836
秋田県大館市池内字中台300
TEL (0186) 42-7611
FAX (0186) 42-7613

謹 賀 新 年

平成31年元旦

工事は地元の信頼できる
工務店にお任せ

〈住まいづくりに奉仕する〉



三浦木材株式会社

代表取締役 三浦功達

〒017-0031 大館市上代野字上代野5-1
TEL 0186-48-5811
FAX 0186-48-5814

謹 賀 新 年

平成31年元旦

能 代 山 本 建 築 士 会

住 所 〒016-0845 能代市通町1-16 サクラバ設計内
T E L 0185-53-5667 F A X 0185-74-6020

顧 相 会 副 理	問 役 長 事	中 松 熊 大 西 幸 池 相	田 谷 谷 高 方 坂 田 原	福 里 佐 勇	潤 三 勝 勇 見 誠 保 次 郎	櫻 長 佐	庭 門 藤	徹 哉 一	雅 友	佐 々 木 村	政 幸 喜 代 宣	永 今	井 井	儀 浩	博 一
監	事					加	藤	一	喜						

謹 賀 新 年

平成31年元旦



設計集団 **環** 協同組合

代表理事 佐 藤 友 一

〒016-0811 秋田県能代市日吉町20-25
TEL0185-55-0022・FAX0185-55-0023

謹 賀 新 年

平成31年元旦

ISO9001認証取得



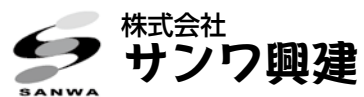
代表取締役社長 中 田 潤

本 社 〒010-0951 秋田市山王五丁目9番2号
TEL018(864)3211(代) FAX018(864)3216
能代本店 〒016-0804 能代市万町4番29号
TEL0185(54)3911(代) FAX0185(55)0226

謹 賀 新 年

平成31年元旦

総合建設業



代表取締役 佐 藤 磨

本 社／秋田県能代市字高埴65番地
TEL0185-55-3110 FAX0185-54-4713
秋田店／秋 田 市 泉 馬 場 6 - 10
TEL018-869-7330
<http://www.sannwa.co.jp>

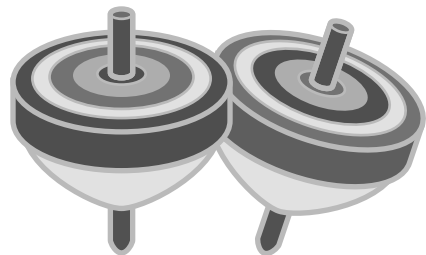
謹 賀 新 年

平成31年元旦

建築工事・不動産

熊 谷 建 設(株)

〒016-0015
秋田県能代市須田字屋布添76番地
T E L 0185-54-4600
F A X 0185-54-4107



謹 賀 新 年

平成31年元旦

秋 田 中 央 建 築 士 会

住 所 〒010-0001 秋田市中通2-3-8 秋田アトリオンビル5F
T E L 018-836-7850 F A X 018-836-7852

相 談 役	淡 土	路 田	孝 久	次 美	工 湯	藤 沢	晴 隆	治 市	小 渡	竹 辺	哲 佐	夫 文	鈴 木	玲 子	高 橋	智 徳
会 副	田 加	仲 藤	雅 一	美 成	櫻 庭	庭	星 治	朗 樹	植 佐	田 岡	恒 裕	一 展	小 佐	原 藤	正 紘	明 一
会 計	伊 赤	川 玉	加 孝	子 則	伊 小	藤 林	敦 晴	司 裕	々 館	木 岡		人 輔	谷 若	口 松	満 州	美 博
理 事	畑 伊	山 藤	充 青	郎 子	原 佐	岡 田	重	明		渡						
監 事				英 師		藤										

謹 賀 新 年

平成31年元旦



学校法人 峰本学園
秋田建築デザイン専門学校
〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-71
TEL. 018-824-0515 FAX. 018-866-7028
URL <http://www.aac.ac.jp/>
E-mail kensen@sirius.ocn.ne.jp

詳しくは本校のホームページをご覧ください。

秋田建築デザイン専門学校

検 索



謹 賀 新 年

平成31年元旦

株式会社
渡辺佐文建築設計事務所
〒010-0954 秋田県秋田市山王沼田町6-8
TEL. 018-863-8431 FAX. 018-863-8432

謹 賀 新 年

平成31年元旦



長尺立平葺屋根 5&W工法 通し吊子一体型の水密性に優れた縦葺工法	定尺横葺屋根 柱目FLEX “柱目”を連想させる斬新なデザイン
屋根・壁・太陽光発電・・・創エネで未来をリード! SEKINO セキノ興産	株式会社 セキノ興産 秋田店 ☎ 018-880-2323 FAX 018-880-2221 〒011-0916 秋田市飯島字穀丁大谷地 1-7

謹賀新年

平成31年
元旦

since 1969 おかげさまで50周年。

日建学院

秋田校

TEL:018-801-7070

〒010-0001 秋田県秋田市中通6-7-9 秋田県畜産会館2F

謹賀新年

平成31年元旦

 **金子サッシ**

株式会社 KANEKO

代表取締役 田村 伸一

〒010-1617

秋田市新屋松美ガ丘東町2番15号

TEL(018)863-1717 FAX(018)863-9234

謹賀新年

平成31年元旦

株式会社 **林工務店**

代表取締役 林 明夫
専務取締役 林 徳彦
常務取締役 林 康夫

〒011-0943 秋田市土崎港南1丁目14-37
TEL 018-845-1863 FAX018-845-6930

謹賀新年

平成31年元旦

代表取締役 足利 健



総合建設業
株式会社 **足利工務店**

〒019-2601
秋田市河辺和田字岡村239
電話/018-882-2059・ファックス/882-2153
仙台営業所
仙台市宮城野区鶴巻2丁目3-43
TEL.022-781-6301 FAX.022-781-6302

謹賀新年

平成31年元旦

設計・監理 一級建築士事務所
株式会社 クリエイティブライフ


Creative Life

代表取締役 淡路 孝次

〒010-0802 秋田市外旭川字三後田266-2
TEL 018-868-5352 FAX 018-868-5348
E-mail creativelife@iaa.itkeeper.ne.jp

謹賀新年

平成31年元旦



株式会社 **北日本建築検査機構**

代表取締役社長 國安 恵子

〒010-0029
秋田県秋田市櫛山川口境13-7
TEL 018-884-0071
FAX 018-884-0072
E-mail info@kbo.co.jp

謹賀新年

平成31年元旦

STATIONERY & PAPER
TOMIYA

株式会社 **とみや**

〒010-0951 秋田市山王3-8-34 (山王ツインビル)
TEL 018-862-8002 FAX 018-865-2490
URL <http://www.kk-tomiya.co.jp>

謹賀新年

平成31年元旦


Akyodo

秋田協同印刷株式会社

代表取締役 赤川 靖宏

〒010-0976
秋田市八橋南二丁目10-34
TEL.018-823-7477(代)
FAX.018-824-2864
<https://www.akyodo.co.jp>

謹 賀 新 年

平成31年元旦



新日本法規出版株式会社

〒981-3195 仙台市泉区加茂1丁目48番地の2
TEL (022) 377-1711 FAX (022) 377-3620
E-mail : sendai-eigyo@sn-hoki.co.jp



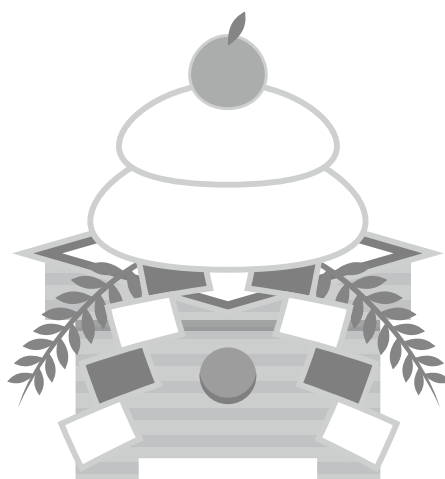
謹 賀 新 年

平成31年元旦

由 利 建 築 士 会

住 所 〒015-0011 由利本荘市石脇字尾花沢54-133 (株)工藤設計事務所内
T E L 0184-23-3588 F A X 0184-23-3558

名誉会長 相談役 会長 副会長 専務理事 理事 監事	早川敏雄 工藤次郎 高橋幸治 佐々木光夫 正木和美 佐藤久美 横山吉則 山廣壽	佐藤孝一 岡本末吉 加賀藤繁 佐藤	佐藤誠 木原忠悦 村原文男 上谷成俊 成俊夫 菊伊地 地藤久 久一美 美彦
--	--	----------------------------	---



謹 賀 新 年

平成31年元旦

仙 北 建 築 士 会

事務局 〒014-0062 大仙市大曲上栄町13-60 (株)長岐建築設計事務所内
T E L 0187-62-4320 F A X 0187-62-0213

会 副 会 長 小 田 島 誠
副 常 任 理 事 茂 樹
専 務 理 事 靖 正
監 事 齋 藤 泰 幸
青 年 委 員 会 長 齋 藤 幸 昭
女 性 委 員 会 草 小 奈 美

菅 原 文 雄
高 橋 秀 喜
佐 々 木 徹
齊 藤 英 人
相 馬 浩 喜

佐 藤 賢 一 戸 嶋 真 紀 子
仲 野 谷 勝 洋 藤 原 達 朗

謹 賀 新 年

平成31年元旦



一級建築士事務所

代表取締役 小田島 誠

〒019-1234

秋田県仙北郡美郷町飯詰字北中島46番地5

TEL 0187-82-1315

FAX 0187-82-1660



URL <http://www.odasima.co.jp>

謹 賀 新 年

平成31年元旦

ISO9001 認証企業



— すべては『ありがとう』のために —

代表取締役 播間 泰

常務取締役 茂木 茂樹

【本社】秋田県仙北郡美郷町土崎字中野際89-1

TEL.0187-85-2255

大仙支店

秋田支店

仙台支店

URL <http://harima-kensetsu.jp>

謹 賀 新 年

平成31年元旦

興 栄 建 設 株 式 会 社

代表取締役 齋 藤 靖

本社

〒014-0072

秋田県大仙市大曲西根字西道地野502番地2

TEL(0187)68-2288 (代)

FAX(0187)68-4488

謹 賀 新 年

平成31年元旦

「自然と匠の調和」を目指しお客様第一主義で
自然環境に適した住宅造りをご提案いたします

一般建築・社寺・設計施工・土木工事一式

有限会社 佐々木工務店

代表取締役 佐々木長利

(有)佐々木工務店一級建築設計事務所

〒019-2334 秋田県大仙市木原田字中野153

TEL0187-77-2708 FAX0187-77-2710

大曲オフィス：

〒014-0031 大仙市大曲字下高畑6-6

TEL0187-73-5610

謹 賀 新 年

平成31年元旦

信頼と技術で快適な空間を創造する

総合建築業 建築設計・施工

ISO9001：2015取得



代表取締役 佐 藤 賢 一

取締役会長 佐 藤 富 彦

〒014-1412 秋田県大仙市藤木字東八圭68-5

TEL(0187)65-3232 (代) FAX(0187)65-3350

URL <http://kksatou.jp/>

謹 賀 新 年

平成31年元旦



建設資材の総合商社

山二建設資材株式会社

代表取締役社長 田 口 清 光

所 長 大 塚 勝 也

本 社 秋田市御所野湯本三丁目1番5号

T E L 018 (826) 0300

大曲営業所 大仙市下深井字板口端39

T E L 0187 (62) 2631

F A X 0187 (63) 5944

謹 賀 新 年

平成31年元旦

MCA

MORE CREATIVE ASSOCIATION

株式
会社 **エムシーエー建築設計**

代表取締役社長 小 林 康 彦

〒014-0068 秋田県大仙市大曲飯田町1-8
TEL 0187-62-5480/FAX 0187-66-1955

謹 賀 新 年

平成31年元旦

有限会社 **館 設 計**

代表取締役 松 塚 榮

〒014-0055
秋田県大仙市大曲あけぼの町14-25
TEL0187-63-4933 FAX0187-62-4717

謹 賀 新 年

平成31年元旦

設計・監理 一機建築士事務所

T 有限会社
都 市 設 計

代表取締役 栗 谷 昭 一

〒014-0064

秋田県大仙市小曲高野字中巻所80番47
TEL-0187-63-6356 FAX:0187-63-6396

謹 賀 新 年

平成31年元旦



株式会社 **長岐建築設計事務所**

代表取締役 菅 原 文 雄

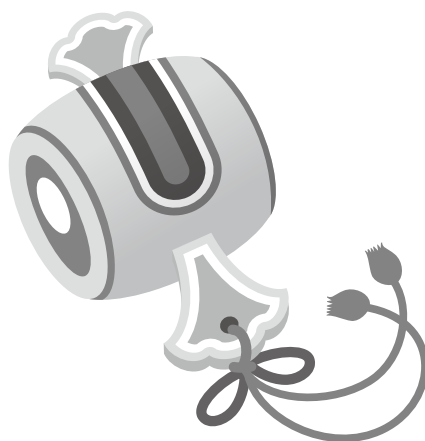
専務取締役 齋 藤 喜 義

常務取締役 草 薙 渉

〒014-0062

大仙市大曲上栄町13番60号

TEL0187-62-4320 FAX0187-62-0213



謹 賀 新 年

平成31年元旦

横 手 建 築 士 会

住 所 〒019-1108 横手市山内土測字茂竹8-5 照井郁人建築設計事務所内
T E L 0182-53-2650 F A X 0182-53-3450

相 談 役 長 事 会 副 理	大 照 早 鈴 佐 々 北 高 石 佐 吉	嶋 井 山 石 木 嶋 橋 橋 藤 水	輝 郁 政 博 誠 清 留 清 洋 太 郎	男 人 美 実 一 美 男 忠 張 郎	金 菊 川 田 佐 齋 高 鈴 高	沢 池 本 原 藤 藤 橋 木 橋	純 泰 一 友 智 智 松	治 美 義 明 明 裕 敏 子 美	黒 村 堀 小 佐 佐	田 田 川 寺 藤 藤	新 運 光	稔 久 一 悦 方 義	鈴 千 菊 岩 高	木 葉 地 村 荒	康 和 満 忠 宏	悦 廣 雄 行 一	高 根 大 小 鈴	橋 田 類 木 木	信 克 政	夫 利 誠 悟 道
監 事																				

賀 正

平成31年元旦

有限会社
久米一級建築設計事務所

代表取締役 久 米 征 子

〒013-0035
秋田県横手市平和町6番3号
T E L (0182) 32-1347
F A X (0182) 32-1319
E-mail kume2@sea.plala.or.jp

謹 賀 新 年

平成31年元旦

株式会社 近 建築設計事務所

一級建築士事務所

代表取締役 佐 藤 時 彦

〒019-0503
秋田県横手市十文字町西原一番町8番地
T E L (0182) 42-1388(代)
E-mail:konsekkel@h3.dlon.ne.jp

謹 賀 新 年

平成31年元旦



伊藤建設工業株式会社

品質 | S O 9001 認証企業
環境 | S O 14001

本 社 秋田県横手市大町5番19号
T E L 0182(32)3960(代)
秋田営業所 秋田市山王六丁目1番13号
山王プレスビル3階
T E L 018 (863) 5530

謹 賀 新 年

平成31年元旦



YOKOTE 横手建設(株)

秋田県横手市前郷二番町7-13
Phone 0182(32)1697(代)

謹 賀 新 年

平成31年元旦

21世紀の「街・環境・明日・未来」を創造する
品質 | S O 9001 認証企業
環境 | S O 14001



創 和 SOWA CORPORATION
建設株式会社

本 社 : 〒013-0036 秋田県横手市駅前町13番8号
T E L 0182(32)2680
F A X 0182(32)7500

謹 賀 新 年

平成31年元旦

一級建築士事務所



有限会社 ミツイ 設 計

代表取締役 金 沢 純 治

〒013-0035 秋田県横手市平和町11-5
T E L 0182-33-1011
F A X 0182-38-8848
E-mail y-mitui@wonder.ocn.ne.jp

謹 賀 新 年

平成31年元旦

有限会社
大嶋建築設計事務所

代表取締役 大嶋輝男

横浜市朝日が丘三丁目6-2

TEL 0182-33-1452

FAX 0182-33-2729

E-mail Oshima@ruby.ocn.ne.jp

謹 賀 新 年

平成31年元旦



株式会社 半田工務店

本社：〒013-0043
横浜市安田字堰端9番地1
TEL0182-33-0300 / FAX0182-33-0303

秋田営業所：〒010-0963
秋田市八橋大沼町1番3号
TEL018-863-8635 / FAX018-863-8497

謹 賀 新 年

平成31年元旦



信頼・創造

株式会社 大和組

秋田県横手市平和町10番30号

電話 0182-32-3434

FAX 0182-32-3499

謹 賀 新 年

平成31年元旦

湯 沢 雄 勝 建 築 士 会

〒012-0037 湯沢市字沖鶴194-12 シグマ企画加納設計内
TEL 0183-73-6797 FAX 0183-73-6837

相談役	佐藤清次	山脇一樹	高橋秀夫	今康博	佐藤重志
会長	佐藤隆成	山脇吉隆	高橋秀夫	今康博	佐藤重志
副会長	清水川茂	伊藤鈴木伸一	高橋秀夫	今康博	佐藤重志
理事	由利大輔	清水川道子	高橋秀夫	今康博	佐藤重志
	加納原大幸	佐々木修	高橋秀夫	今康博	佐藤重志
監事	佐藤進	高久和彦	高橋秀夫	今康博	佐藤重志

謹んで新春のお慶びを申し上げます

平成31年元旦



一般財団法人

秋田県建築住宅センター

理事長 高橋 行文 常務理事兼事務局長 植田 一 事務局次長兼課長 伊藤加久子

〒010-0001 秋田市中通二丁目3番8号(アトリオンビル5階)
TEL: 018(836)7851 FAX: 018(836)7852

ホームページ: <http://www.akjc.or.jp>

E-mail: info@akjc.or.jp

総合資格学院は

1級建築士試験も
2級建築士試験も
「日本一」の合格実績!

No.1

2018年度 1級建築士学科・設計製図試験

東北開講5県 ストレート合格者占有率
岩手県・宮城県・山形県・福島県・秋田県
東北開講5県ストレート合格者50名中/
総合資格学院当年度受講生32名
東北開講5県ストレート合格者の
6割以上は
総合資格学院の当年度受講生!
(2018年12月20日現在)

ストレート
合格者占有率
64.0%

2018-2014年度 1級建築士設計製図試験

全国 合格者占有率
全国合格者合計18,464名中/
総合資格学院受講生10,427名
全国合格者の
およそ6割は
総合資格学院の受講生!
(2018年12月20日現在)

合格者占有率
56.5%

2018-2014年度 1級建築士学科試験

全国 合格者占有率
全国合格者合計23,360名中/
総合資格学院受講生11,804名
全国合格者の
2人に1人以上は
総合資格学院の受講生!
(2018年9月4日現在)

合格者占有率
50.5%

2018年度 2級建築士設計製図試験

総合資格学院
当年度受講生
合格者数 **2,179名**

資格取得スクールとしてNo.1の合格実績を達成しました!
※全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。
※出典: <http://www.shikaku.co.jp/shiken/index.aspx> ※全国合格者5,997名中、総合資格学院合格者2,179名・日建学院合格者2,327名・その他合格者1,691名 ※前記、合格実績および合格者の内訳は2018年12月1日現在のものです。

全国合格率54.9%に対して
総合資格学院
基準達成当年度受講生合格率
8割出席・8割復習提出・模擬試験2ランク1-A達成当年度受講生703名中/合格者612名
(2018年12月18日現在)

87.1% 達成

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会No.1表示に関する実態調査報告書に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 ※全国・都道府県合格者数・全国・都道府県ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者は、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。

2018年度 設備設計1級建築士講習 修了率

総合資格学院当年度通学受講生修了率 **77.1%**
総合資格学院当年度通学受講生35名中/修了者27名
総合資格学院当年度通学受講生以外の受講生修了率36.2%
総合資格学院当年度通学受講生以外の受講生304名中/修了者111名
(2018年12月18日現在)

修了率の差
2倍
以上

2018年度 2級建築士 学科試験

全国合格率37.7%に対して
総合資格学院基準達成当年度受講生合格率 **92.6%**
※出典: 一般社団法人・一般財団法人試験運営機構より発表された当年度受講生9,000名中/合格者8,392名
総合資格学院当年度受講生合格者数 **2,020名**
(2018年12月18日現在)

企業の将来を担う若手技術者の
育成にご協力いたします。

法人 サポートサービス

好評受付中!!
詳しくは、秋田校まで

新卒採用支援

各種合格ガイダンス

模擬試験・社内講習会

有資格者育成プラン作成

法定講習

法定講習サイト

検索

total.shikaku.co.jp

一級・二級 木造建築士定期講習 / 管理建築士講習 / 監理技術者講習 /
第一種電気工事士定期講習 / 宅建登録講習 / 宅建登録実務講習

受講生募集中 無料体験入校実施中! お気軽にお問い合わせください

1級・2級 建築士	構造設計 1級建築士	設備設計 1級建築士	建築設備士	1級・2級建築 施工管理技士
1級・2級土木 施工管理技士	1級・2級管工 施工管理技士	宅地建物取引士	賃貸不動産 経営管理士	インテリア コーディネーター



総合資格学院



おかげさまで「1級建築士も2級建築士も合格実績日本一」
を達成しました。これからも有資格者の育成を通じて、
業界の発展に貢献して参ります。
総合資格学院 学院長 岸 隆司



スクールサイト www.shikaku.co.jp

総合資格 検索

コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp

Facebook 「総合資格 fb」で検索!

秋田校 TEL. **018-874-9081**

秋田市中通1-4-32 秋田センタービル 1F

◆建築士定期講習◆

平成 30 年度の（一社）秋田県建築士会が開催した建築士定期講習の概要（中間）を報告いたします。

CPD：6 単位

月日	会場	定員	受講者
7 月 10 日（火）	秋田市文化会館	100	81
10 月 3 日（水）	北秋田市交流センター	60	49
11 月 8 日（木）	大仙市大曲交流センター	100	112
3 月 5 日（火）	秋田市文化会館	100	未開催



大仙市大曲交流センター



北秋田市交流センター

◆建築士試験◆

平成 30 年度の建築士試験の実受験数と合格人数（名）

項目		一級	二級	木造
・学科の試験				
実受験者	(a)	119	157	0
合格者	(b)	13	57	0
合格率	(b) ÷ (a)	10.9%	36.3%	- %
(全国合格率)		18.3%	37.7%	57.4%
・設計製図の試験				
実受験者	(c)	27	84	0
内、製図から	(d)	16	33	0
最終合格者	(e)	7	37	0
合格率	(e) ÷ (c)	25.9%	44.1%	- %
(全国合格率)		41.4%	54.9%	64.9%
最終合格率	(e) ÷ {(a) + (d)}	5.2%	19.5%	- %
(全国最終合格率)		12.5%	25.5%	35.8%

平成 30 年度の二級建築士合格者は、37 名で、昨年の 43 名を下回りました。また、木造建築士は受験者無し、一級建築士合格者は、7 名（昨年 1 名）の方が合格されました。

◆入会案内パンフレット◆

新入会員向けの入会パンフレットを作成しております。

表面が本部の事業内容、裏面が各地域会の活動状況です。

現在、能代山本建築士会と秋田中央建築士会の案内が完成しております。（※HP掲載）

勧誘等にお使いください。

◆建築甲子園◆

2018年 第9回 高校生の「建築甲子園」が実施されました。今年のテーマは、「知己のくらしーリノベーションの可能性」です。

今年は、秋田県立大曲工業高等学校より1点の応募がありました。秋田県予選の選考委員は、事業委員会の広報・教育支援部会の委員9名による採点方式で行われました。

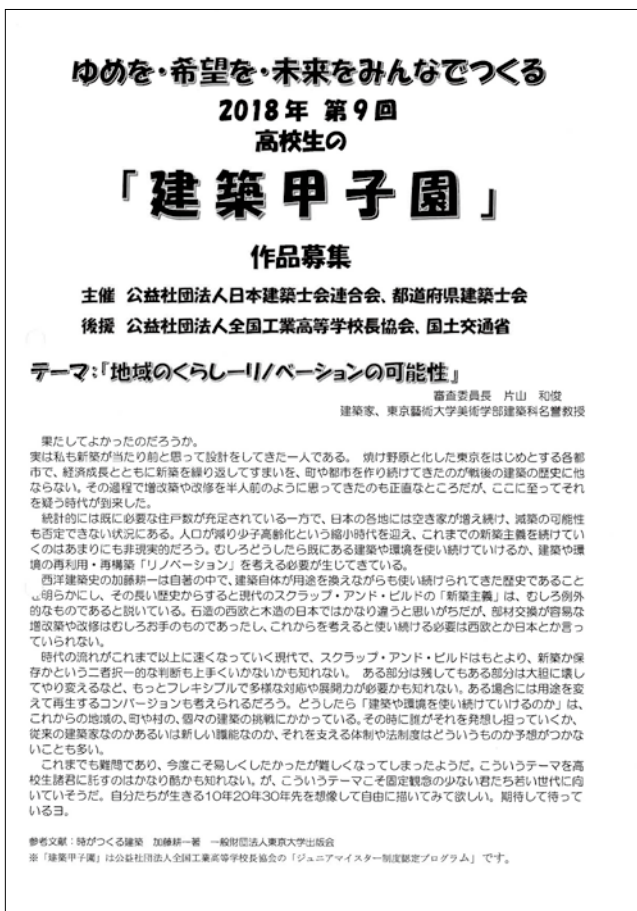
結果、下記の1点が県予選を勝ち抜き、全国大会へ進出いたしました。

審査委員長：菊池泰美（事業委員会 広報・教育支援部会長）

審査員：阿部悦史郎（鹿角）、三浦英人（大館北秋田）、田村喜代宣（能代山本）、

櫻庭星治（秋田中央）、佐藤孝一（由利）、戸嶋真紀子（仙北）、黒田 稔（横手）、

由利 靖（湯沢雄勝）



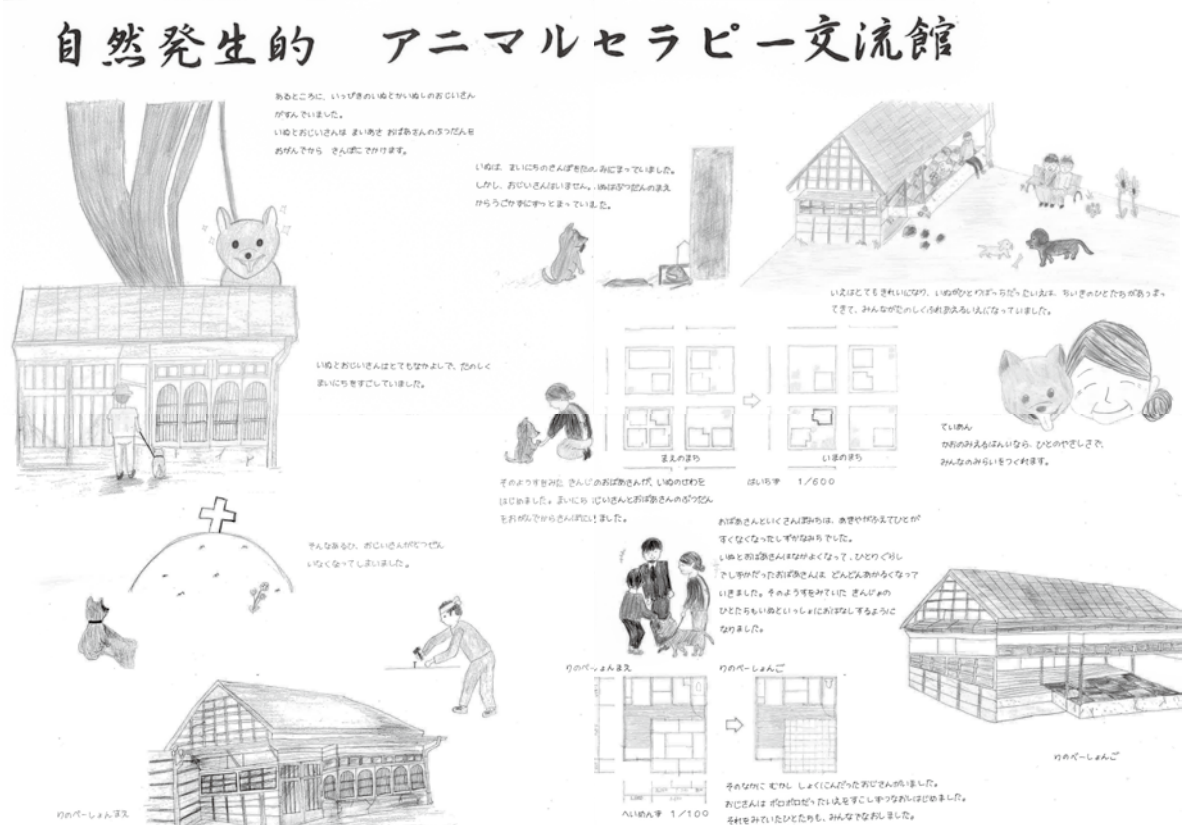
◆自然発生的 アニマルセラピー交流館

秋田県立大曲工業高等学校

小松 千紘 さん、小松田 杏輔 さん

渋谷 華暖 さん、高橋 颯也 さん

新山 滢さん、本庄 真優さん



《講評》

【優れている点】

- ・物語風の構成は斬新な発想であり、ストーリーと表現方法が保育園児でも理解できるコンバージョン。
- ・秩序ある地域性を目指す未来志向の気持ちは評価できる。

【劣る点】

- ・建築を学んでいる高校生としては、建築的要素の表現力に乏しい。
- ・すべて平仮名にした表現の意味が伝わらない。また、建築概要や設計主旨等、最低限の記載は必要であると思われる。

評価点：54. 6点（100点）

尚、全国大会の結果は、(公社)日本建築士会連合会のホームページで公表されます。

◆建築士のための講習会◆

CPD：各4単位

■趣 旨

建設業界の大きな問題であります建設業界の担い手の確保については、国や関係団体においても様々な施策を行っております。

建設業の仕事は3Kをはじめとしたマイナスイメージもあり、あらためて業界の魅力を伝えるべく、この度「施工がわかる イラスト建築生産入門」（編集：一般社団法人日本建設業連合会、発行：彰国社）が発刊されました。同書の内容は建築工事の着工から竣工、維持保全までプロセスを膨大なイラスト表現によりわかりやすく解説されており、初めて施工を学ぶ学生、建設業に携わるすべての方々ばかりでなく、設計者にとっても施工の一層の理解に寄与するものです。

当建築士会においても会員をはじめ関係方面へ「建築生産入門」の周知等の観点から講習会を開催いたします。

- 主 催 （一社）秋田県建築士会
- 共 催 （公社）日本建築士会連合会
- 後 援 秋田県、（一財）秋田県建築住宅センター
- 実施内容 ※いずれも、DVD 放映講習です。
平成 31 年 2 月 20 日（水） 13:30～16:10



- 定 員 60 名
- 会 場 ユースパル 2 階大研修室 秋田市寺内神屋敷 3-1
- 受講料 会員 4,000 円 非会員 7,000 円（テキスト代 3000 円含）
- CPD 単位 3 単位認定です。

受講申込書は、当会ホームページからダウンロードできます。

※地域会が開催する場合の要領を作成しております。

◆二級建築士、木造建築士の登録業務◆

建築士の登録等の手続きは、全て建築士会で取り扱っております。

【業務内容】

- （1）二級建築士・木造建築士登録事務（新規、変更）
- （2）二級建築士・木造建築士登録簿等の閲覧事務
- （3）二級建築士・木造建築士登録証明書発行事務

【手数料】

- | | |
|------------------------|----------|
| （1）二級建築士・木造建築士の登録申請手数料 | |
| 新規登録申請による「免許証明書」の発行 | 19,200 円 |
| 事項変更申請による「免許証明書」の発行 | 5,900 円 |
| 再交付申請による「免許証明書」の再発行 | 5,900 円 |
| 免許証の書換えによる「免許証明書」の発行 | 5,900 円 |
| 住所等の変更届の登録変更 | 無料 |

◆県内市町村が行う木造住宅耐震診断支援事業◆

平成 29 年度より開始されました木造住宅耐震診断支援事業が、今年度から 18 市町村が実施することとなりました。当会では 17 市町村との契約のもと、該当市町村の依頼により本会が診断可能な建築士会会員を選定し、申請者住居の診断を行っていただく事業です。

速やかな派遣体制を構築するため、診断実施可能な会員を募集したところ、現在 44 名の方が参加登録しております。

【本会と契約済みの市町村】

- 県 北：大館市、能代市、鹿角市、北秋田市、小坂町、三種町、上小阿仁村
- 県中央：秋田市、由利本荘市、男鹿市、井川町、五城目町、八郎潟町
- 県 南：大仙市、横手市、美郷町

【診断を行う要件】 全てに該当する方

- ・（一社）秋田県建築士会の会員であること
- ・建築士事務所に所属し、その建築士事務所が耐震診断業務を受託可能であること
- ・県が認める講習会を受講し、秋田県木造住宅耐震診断技術者として登録していること（平成 29 年 3 月 10 日から登録開始）

※登録はこちらから、県 H P：<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/22034>

【診断方法】

- ・「2012 年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」一般診断法による診断プログラム Wee2012
（（一財）日本建築防災協会発行）による
- ・委託市町村が別に定める仕様書、及び当会耐震診断実施要領による。

木造住宅耐震診断の実施要領の策定、及び報告書の様式など、本事業以外にも活用できるよう整備を行っております。

○今年度の受諾状況

12 月 20 日現在、9 市町村より 26 棟の診断を受託しております。

- | | | | | | |
|-------|-----|------|-----|--------|-----|
| ・大館市 | 5 戸 | ・能代市 | 5 戸 | ・五城目 | 1 戸 |
| ・八郎潟町 | 1 戸 | ・秋田市 | 3 戸 | ・由利本荘市 | 4 戸 |
| ・大仙市 | 1 戸 | ・横手市 | 5 戸 | ・美郷町 | 1 戸 |

○診断登録者数 計 44 名

- | | | | | | |
|-------|------|--------|------|-------|-----|
| ・鹿角 | 3 名 | ・大館北秋田 | 5 名 | ・能代山本 | 5 名 |
| ・秋田中央 | 7 名 | ・由利 | 3 名 | | |
| ・仙北 | 10 名 | ・横手 | 10 名 | ・湯沢雄勝 | 1 名 |

又、若手の診断士を養成するため、平成 31 年 3 月 1 日（金）に秋田市において『秋田県木造住宅耐震診断士養成講習会』を開催することとなりました。

「秋田県木造住宅耐震診断士養成講習会」の開催について（ご案内）

秋田県では、住宅の耐震化に係る新たな取組みとして平成 29 年度より『市町村が行う木造住宅耐震診断支援事業(耐震診断士派遣事業)』を実施しております。本事業の中で診断をする建築士については、市町村からの依頼により協会及び士会が各会員の中から選任し派遣をしているところではありますが、耐震診断士は県が認める講習会*を受講することが必須となっております。

本講習会は、県より木造住宅耐震診断士としての講習として認められ、受講後には「秋田県木造住宅耐震診断技術者」の登録がすることができます。つきましては、標記講習会を下記の通り開催いたしますので、ぜひ受講されますようご案内申し上げます。

また、過去に同様の講習を受講したが実務実績が少ない方等の受講も可能です。

この講習は、建築物の耐震改修の促進に関する法律に規定する国土交通大臣登録耐震診断資格者講習ではありませんので、ご了承ください。

【※県が認める講習会】

- ①建築物の耐震改修の促進に関する法律施行規則第 5 条第 1 号及び第 2 号の規定に基づく「木造耐震診断資格者講習」
- ②秋田県主催の「木造住宅の耐震診断・改修講習会」（平成 18 年度及び平成 19 年度に開催した講習会を含む）
- ③秋田県建築士事務所協会・秋田県建築士会共催の「秋田県木造住宅耐震診断士養成講習会」

記

■主 催：（一社）秋田県建築士事務所協会・（一社）秋田県建築士会

■後 援： 秋田県・（一財）秋田県建築住宅センター

■対 象： 一級建築士、二級建築士、木造建築士（以下「建築士」という。）、かつ県内居住者又は勤務するものであって過去 5 年間に建築士として違反等の処分歴がない者

■日 程： 平成 31 年 3 月 1 日（金） 13：30（受付 13：00 より）～ 17：00

■会 場： 秋田県中央地区老人福祉総合エリア 多目的ホール（秋田市御所野下堤 5-1-1）

■定 員： 100 名

※ C P D 認定講習：3 単位

編集後記

「マグマ大使の笛に呼ばれて」

鹿角建築士会 柳 沢 富美男

マグマ大使の笛に呼ばれて、三十数年ぶりに高校時代の友人と無茶苦茶楽しい時間を過ごしました。夕刻から翌日の夕刻まで目一杯話をし、酒を酌み交わしました。

一体全体、何年経っても色褪せないこんな絆は何処からやってくるのでしょうか。

こんな時、思い出す逸話があります。でもその話のソースが思い出せない。

てっきりあの傑作てんこ盛りの晶文社の文学のおくりものシリーズの中の話だと思って居りました。レイ・ブラットベリ、イタロ・カルヴィーノ、ナット・ヘントフ、ジャン・コー、ウィルアム・サローヤン等々を網羅したシリーズです。しかし、探したけれど見つからない。

ひょんな事から逸話の出自を見つけました。なんと伊丹十三の「ヨーロッパ退屈日記」の中の話だったのです。それは「スミス氏の散歩」と題されたこんな話です。

ある春の晴れた朝、スミス氏が森の中を散歩していると、小径の彼方に、巨大な象がこっち向いて座っていました。

スミス氏がステッキを振りながら近づいてゆくと、象は静かに微笑んで目顔で挨拶をしました。「象おはよう。」「おはよう、スミスさん。」「朝早くからこんなところに座って何をしているんだい。」「ただ座ってるんです。」

・・・中略（それからスミス氏は森を抜け、小川を渡り、坂を登り、灌木の林を抜けて行きます。そこでまた、もう一匹の象に出会います。・・・

「象、おはよう。」「おはよう、スミスさん。」「一体こんな道の真中に坐り込んで何をやってるんだい。さっき、あっちで君の友達にあったけど、彼も道の真中に坐ってたよ。でも、君とは反対の方向を向いてたっけ。」すると象は、もういかにも嬉しそうに眼をくしゃくしゃさせて言ったのです。「ほんとに彼はまだ坐っていましたか。それは素敵だなあ。」「彼が坐ってたらどうして素敵なんだい。一体、君達は何をやってるの。」「ぼく達はね、ブック・エンドごっこをやってるんです。」

場所がいくら離れていようが、年月が経とうが、遠くの友人を思いやり、今の自分があるべき側を向き、然るべき場所に座っているだけで「ブック・エンドごっこ」は成立するという、ナマケモノにとっては、もってこいの逸話と都合良く解釈して居ります。

建築もこんな風に町や都市の歴史を思いやることに依って、建物の有り様が見えてくるのではなかとムリヤリ力技で建築の話にコジツケて士会ニュースの編集後記とさせていただきます。

(裏表紙から続く)



手摺 「松」の透かし彫り



手摺 「梅」の透かし彫り



2階 客間は5室設けられており、その内3室は襖で仕切れ大広間として使用出来る。平書院の建具や欄間、下地窓の造作は各部屋の個性を表した細工で手が込んでいる。



1階 便所 お茶室で用いられる下地窓等があり、入り口の扉や欄間、天井の設え等と相まって数寄屋の特徴を色濃く醸している。

大館・北秋田建築士会 松橋雅子

平成 30 年度 優良建物見学会



集合写真



事前説明



街並み散策



佐藤又六家にて



旧石田理吉家前にて

あきた建築士会ニュースNo.151 (2019年1月号)

発行／一般社団法人秋田県建築士会 住所／〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 秋田アトリオンビル5階(一財)秋田県建築住宅センター内 電話／018-827-3718
編集／一般社団法人秋田県建築士会事務局 発行日／平成31年1月25日 印刷／秋田協同印刷株式会社